

FUKUOKA UNIVERSITY FACULTY GUIDEBOOK

人文学部

Faculty of Humanities

- 文化学科
- 歴史学科
- 日本語日本文学科
- 教育・臨床心理学科
- 英語学科
- ドイツ語学科
- フランス語学科
- 東アジア地域言語学科



FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学
学部ガイド2027



人文学部
ウェブサイト



キャンパス
マップ

入学センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL: 092-871-6631 (代)



Understanding Humanity

人間・文化・世界・自身…。

こだわり、好み、趣味。

長い人生の4年間、

そんなことを突きつめる時間があるといい。

人間の知は膨大な文化遺産
次の百年 この遺産をいかに生かすか
この遺産に問いかけてみよう
偉大な遺産はきっと答えてくれる
それは喜ばしい知
汲み尽くせぬほど深く
心に触れる知

※本冊子に掲載している人物の情報は、2025年度取材時のものです。

目次	学部長メッセージ	01
	学科紹介	02
	文化学科	04
	歴史学科	10
	日本語日本文学科	16
	教育・臨床心理学科	22
	英語学科	28
	ドイツ語学科	34
	フランス語学科	40
	東アジア地域言語学科	46
	各種課程教育情報・主な就職先	52

▶ 個々の興味・関心に応じる、多様な学科構成

人文学部は、8学科で構成されています。その分野は、他の大学でいえば、文学部・外国語学部・教育学部などで扱う学問領域に当たります。特定の学科に所属して専門分野を学びながら、関連教育科目として他学科の授業が受けられるので、人文科学の幅広い研究分野に接することができます。

▶ 幅広い教養の修得(共通教育と専門教育のくさび)

人文学部は、学問の基幹となる分野を扱う学科から構成されています。そして、ゼミナールや卒業論文などの少数教育によって専門分野について知見を深めていきます。しかし、その学問の基礎を確かなものにするには、人文科学以外の社会科学・自然科学などの諸領域の知見も欠かせません。

学部長メッセージ

人間を多様な視点から 理解する

人文学部長 関口 浩喜 SEKIGUCHI Hiroki



人文学とは、Humanitiesという英語が示すように「人間に関するさまざまな学問」という意味です。人間に関するさまざまな学問、それが人文学であり、それを学べるのが人文学部なのです。

人文学部は、文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、そして東アジア地域言語学科という、多様な8つの学科から構成されています。これら8学科に共通しているのは、「人間への関心」です。人文学部の8学科は「人間とは何か」という問いに、多様な視点からアプローチしています。各学科の紹介文章を読んでみてください。そこに必ずあなたの関心と一致する学科があるでしょう。

人文学部では「演習(ゼミナール)」と呼ばれる少人数科目が数多く開かれています。演習に参加することによって、専門的な知識を深めるだけでなく、自分の意見を明確に述べる力、相手の主張に耳を傾け理解する力を着実に格段に伸ばすことができます。このような力こそ、現代社会において求められている「コミュニケーション能力」に他なりません。人文学部の4年間で培ったコミュニケーション能力は、あなたが卒業後に社会で活躍するための基盤となります。

「受験勉強」が終われば、自分で思いのままに学ぶことができる自由な4年間という時間が待っています。皆さんと福岡大学人文学部で会えることを心待ちにしています。



(This content is already covered in the previous block)

▶ 個々の興味・関心に応じる、多様な学科構成

(This content is already covered in the previous block)

▶ 幅広い教養の修得(共通教育と専門教育のくさび)

(This content is already covered in the previous block)

▶ 教育・航空業界をはじめ、多方面への就職を支援

人文学部では、大学全体の就職・進路支援に加え、学生が早い時期からキャリア形成を意識できるよう、エアラインセミナー等の学部独自のセミナーを実施しています。また同窓会の主催による就職支援セミナーや各種講演会を実施しており、学生が学部教育を通して身につけた能力を、社会の各方面で発揮できるように、きめ細かな支援をしています。

▶ 海外研修・留学・国際交流

人文学部は、外国語教育を重視し、第二外国語を選択必修にしています。そして、外国語学習を支援する制度として、海外研修や留学制度をカリキュラムの中に取り入れています。学科の多さを反映して、研修や留学先も多彩です。

三つのポリシー

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学者受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)

▼ AP



▼ CP



▼ DP



学科内部のしくみ一覽

文化学科 Department of Culture

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 哲学・倫理学 ● 宗教学 ● 芸術学・美術史 ● 社会学 ● 心理学 ● 地理学 ● 文化人類学・民俗学

詳細は 04-09 ページへ

英語学科 Department of English

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 文化・文科学目群 ● 英語・英語教育科目群 ● グローバル・コミュニケーション科目群 ● グローバル・キャリア科目群

詳細は 28-33 ページへ

歴史学科 Department of History

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本史 ● 東洋史 ● 西洋史 ● 考古学

詳細は 10-15 ページへ

ドイツ語学科 Department of German

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● クロスカルチュラルコース (フランス語学科と一部共同授業) ● ドイツ語コミュニケーションコース

詳細は 34-39 ページへ

日本語日本文学科 Department of Japanese Language and Literature

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語学 ● 日本文学 ● 比較文学

詳細は 16-21 ページへ

フランス語学科 Department of French

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● クロスカルチュラルコース (ドイツ語学科と一部共同授業) ● フランス語コミュニケーションコース

詳細は 40-45 ページへ

教育・臨床心理学科 Department of Education and Clinical Psychology

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 公認心理師トラック ● キャリアデザイントラック ● 学校教員トラック

詳細は 22-27 ページへ

東アジア地域言語学科 Department of East Asian Studies

1年次	2 / 3 / 4年次
基礎教育	専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 中国コース ● 韓国コース

詳細は 46-51 ページへ

文化学科

Department of Culture



文化の総合的・多角的理解！「哲学・倫理学」「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」。

これら7領域を横断的に学びながら、現代社会が抱える課題の解決力を養う。

文化学科では、多様な価値観が共存する現代で活躍するための、広い視野と柔軟な発想力を併せもつ人材を育成します。祭りや儀礼、寺社仏閣、東西の思想、日本や海外の生活様式・都市デザイン、あるいは絵画や映画、アニメにマンガなどの「文化」、その「文化」を育む土壌である「社会」の構造やあるべき姿、そして、その「社会」で生きる「人間」の心のメカニズムや生きる意味に関心を持つあなたを、文化学科は待っています。

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修しており、文化の多様性を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明できる人
- C 態度・志向性** 本学科で学べる多様な文化の興味深さと有用性を理解し、その過程で得る知識や技能を社会のために積極的に活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽によって英語の資格を取得した人やスポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人



文化学科での4年間

1年次 基礎教育

基礎演習 I, II

レポートの書き方、議論の仕方など、大学での学習方法を身に付ける。

文化学科で学ぶ I, II

学科全教員の講義を経験し、幅広い学問領域の考え方や視点の基礎を身に付ける。

2 / 3 / 4年次 専門教育・卒業論文・就職

文化学演習 I, II, III, IV, V, VI

「哲学・倫理学」「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」の7つの学問領域を専門とする教員のゼミから、自分に合ったテーマを選択。指導教員のきめ細かなサポートを受け、研究に取り組む。その集大成を「卒業論文」にまとめる。

多彩な選択科目で、「深く」も「広く」も自由自在

専門教育を「思想文化」「社会文化」「文化学共通」の3つの科目群から選択し、自分だけのカリキュラムを構成。人間・社会・文化に関する総合的・多角的かつ専門的な知識と視点を培う。

卒業後

固定観念にとられない幅広い視野と柔軟な発想力を持つ人へ



専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許
- ☑ 博物館学芸員
- ☑ 社会教育主事
- ☑ 日本語教員
- ☑ 宗教文化士

在学生の声



3年次生 園田 ふうか さん
(福岡県 筑紫女学園高校出身)

7つの学問領域から横断的に「文化」を学習。
多様な価値観を受け入れる姿勢が身に付いた。

Q1 この学科の魅力は？

「文化」を7つの学問領域から学習できることです。横断的に学びを広げることや興味のある分野を深く掘り下げることもでき、学び方の多様性を感じています。特に興味を持った地理学の授業では、グループワークやフィールドワークを通してさまざまな文化を多角的に考察したことで、異文化を理解し、異なる価値観を尊重する考え方が養われました。

Q2 好きな授業は？

メディアの成り立ちや、人類・社会に与えた影響を学習する「マス・コミュニケーション論」です。情報の伝わり方が時代や手段によって変わることを知り、現代社会のコミュニケーションの在り方や慣れ親しんでいる身近な文化を問い直すきっかけになりました。メディアとの付き合い方など、学びを実生活に結び付けて考察する面白さを感じています。

私の時間割(2年次後期)

	月	火	水	木	金
9:00		朝鮮語ⅡA			
10:40		インターメディア・イングリッシュⅡ	西洋美術史	インターメディア・イングリッシュⅣ	宗教文化論
13:00	宗教学特講	芸術B	文化地理学	マス・コミュニケーション論	
14:40		民俗文化論	文化学演習Ⅱ		朝鮮語ⅡB
16:20					

卒業生の声

物事を「疑う」こと、視点を変えてみること。
価値創造のアイデアの源を学んだ。

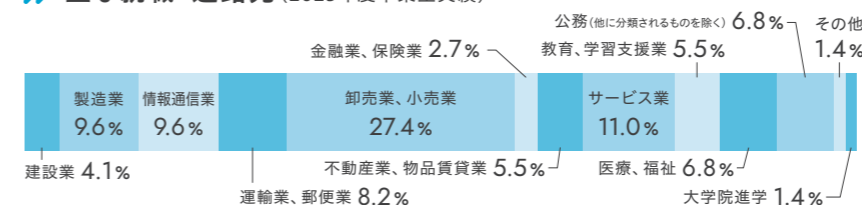
広い視野と自由な発想を学べる本学科では、見る角度を変えたり「正解とは何か」を問うトレーニングをしたりと幅広い視野で社会を見つめる力を培いました。中でも深く印象に残っているのは「常識を疑う」視点を学べたことです。学科の授業では、自分の中の「あたりまえ」の価値観が実は違っていることに気付かせてくれました。

現在、私は広告制作会社に勤務し、幅広い業界のマーケティングに携わっています。広告制作には「正解」がなく、トレンドや状況に応じて柔軟な発想が求められます。どうすれば多くの人に知ってもらえるのか、試行錯誤を重ねる姿勢が新しいモノや価値を生み出す力となります。学科で培った「疑うこと」を起点に、さまざまな角度から物事を見つめ、アイデアが形になることに喜びを感じる日々です。本学科での学びは、変化の激しい時代に自分をアップデートし続ける力となっています。



平田 陸 さん (2022年卒業)
株式会社グランドビジョン

主な就職・進路先 (2025年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

在学生からのメッセージ

Department of Culture



大学生活の中で自分の好きを見つけたいという人におすすめの学科です。今はまだ漠然としている将来像も、さまざまな学問に触れるなかできっと確かなものになるはずです！
(3年次生)



あれもやりたい！ これもやりたい！



文化学科には多様な学問分野について広く深く扱うための土壌が整っています。そのため、それぞれの分野で学んだ点が線になる瞬間があり、より本質的な学びを楽しめます。
(2年次生)



文化学科の魅力は七つ以上の学問領域に開かれていることです。バラエティに富んだ学問を横断的に学ぶことで多様性に富んだ視野を養うことができます。
(4年次生)

文化学科の魅力はさまざまな学問を幅広く学ぶことだと思います。加えて、先生方も個性豊かで気さくな方ばかりなので、学生の人数があまり多くないので、ほとんどの人と仲良くなれます！
(4年次生)

多様な学問を学ぶことが魅力です。「入学前は特別興味を持たなかった分野だけど、学んでみると意外と面白かった」といった出会いが生まれ、興味や知識の幅が広がります。
(3年次生)

何色にでもなれる！それが文化学科です。今の興味関心を追求するもよし、新たに出会い視野を広げるもよし。みんな個性豊かだけれどどこか似ている。そんな魅力あふれるLCです。
(4年次生)



「物事や言葉の意味や本質、概念について無意識に考えてしまう人」「頭の中を言語化することが好きな人」は、文化学科の講義に知的好奇心を刺激されると思います！
(3年次生)

文化学科では、自分と違う価値観や文化を学ぶことができ、多様化する現代で必要不可欠な、広い視野と多角的に物事を考える力を養うことができます。
(3年次生)



文化学科の最大の魅力は、七つの領域の学問を学ぶ機会があり、既に学びたい分野が決まっている人も、そうでない人も、自分の可能性を見出すことができる点です。
(2年次生)



文化学科の魅力は、さまざまな分野から得る新しい知識とともに、前提を深めたりひっくり返したりすることだと思います。多くのあたりまで成り立つ日々の生活が、少し楽しくなります。
(2年次生)

文化学科では身近な「文化」について多彩な学問からアプローチできるため、学びたいものが漠然としていても興味のある分野を幅広く学ぶことができます。
(3年次生)



1番の魅力は学問分野が広いことです。「文化」をキーワードにしてさまざまな分野に触れることで、新たな気づきや学びを得ることができます。
(3年次生)



文化学科では、自分の学びたい学問だけでなく、その他の文化に関わる多様な学問領域を幅広く学ぶ為、大学に入ってからたくさん選択肢があります。自分がまだ、将来何をやりたいかがはっきりしていない方にはおすすめの学科です。
(2年次生)

幅広い分野から自分の興味を模索でき、文化を客観的・相対的にみる力を身に付けることができる学部です。異文化に触れることが好きな私にとって、文化学科で学んだことは大きく役に立っています。
(4年次生)



七つの分野を専門的に学ぶことができるため、一つの分野が自分に合わなくても大丈夫！色々なことを学びたい人やこれから興味のある分野を探したい人におすすめの学科！とにかく優しい雰囲気の人が多いのも特徴。
(4年次生)



幅広い分野を学ぶことができるのが魅力！その分自分の視野も広げることができ、新たな発見もあります。何を学びたいか正確には定まらず悩んでいるそのあなた！個性豊かな先生方のもと一緒にキャンパスライフを楽しんでみませんか？
(4年次生)

魅力は自分の興味を好きなだけ探求できることです。ここではさまざまな分野が学べるので、周りの人の興味も同じとは限らず、学びを深めやすい環境だと思います。
(2年次生)

1年次で、文化学科で学べる幅広い分野をつまみ食いするように知ることができ、その興味に従って翌年から履修を組むことができます。
(4年次生)



文化学科の良いところは一つの分野に縛られずに幅広い学問分野を学ぶことです。これまでに自分が興味を持っていなかったものにも触れる機会があり、教養を深めることができます。
(3年次生)

一つのことを突き詰めて学びたいと思った時、案外その周りを取り囲む、さまざまな要因についても学ぶ必要が出てきます。文化学科では「人」に関係するさまざまな科目を選択して学ぶことができるため、自分にフィットする学びの場が生まれると思います。また、「少し気になる」分野にも手を言えると思います。文化学科の魅力の一つは、歴史、社会学、哲学と各自学びたいことが多く、友人を介して新しい学びを得ることもあります。
(3年次生)



教員・研究の紹介

文化学科に所属している教員をご紹介します。 ※2026年4月1日現在

宗教学

岸根 敏幸 教授
専門分野
 「神話学」「宗教学」「仏教学」

研究テーマは「神話と宗教を中心とする思想文化研究」です。近年では特に日本の神話における諸問題を研究しています。

小笠原 史樹 准教授
専門分野
 「中世哲学」「宗教哲学」

様々な宗教思想について「哲学」の観点から研究しています。中世ヨーロッパのキリスト教を中心に、他の宗教や神話、文学や映画、日本の古典などにも研究対象を拡大中です。

芸術学・美術史

落合 桃子 教授
専門分野
 「芸術学」「美術史」

ドイツを中心とする西洋の近現代美術史を専門としています。ヨーロッパと日本・アジアの文化交流史についても調査研究を進めています。

関根 佳織 准教授
専門分野
 「芸術学」「美術史」「博物館学」

近代日本美術を専門としています。特に狩野芳崖を中心に、江戸時代後期から明治時代にかけての美術について研究しています。

森結 講師
専門分野
 「芸術学」「美術史」

イタリア・ルネサンス期の美術、とりわけ壁画装飾を中心に研究しています。個々の芸術作品が、当時の社会とどのように結びついていたか、という視点から研究しています。

心理学

大上 渉 教授
専門分野
 「犯罪心理学」「認知心理学」

テロや異物混入事件など、さまざまな犯罪について、犯人の個人的属性や犯罪行動に着目して系統的に分析し、その犯罪の構造や特徴を明らかにする研究に取り組んでいます。

縄田 健悟 准教授
専門分野
 「社会心理学」「集団力学」「組織心理学」

集団の光と影をテーマとしています。影の側面として集団暴力や集団間紛争、光の側面として組織におけるチームワークを研究しています。

古川 善也 准教授
専門分野
 「社会心理学」「感情心理学」

人の善悪に関連した心理や行動をテーマとしています。道徳や規範に反した際に生じる感情による行動の修正や道徳や規範を守ることに對する認知的正当化による影響を研究対象として扱っています。

柏原 志保 講師
専門分野
 「認知心理学」「実験心理学」「認知神経科学」

人間の認知、特に記憶のメカニズムに関心があります。行動実験だけでなく脳波計測も用いて、我々が物事を記憶したり処理したりする仕組みやその表現について研究しています。



文化人類学・民俗学

宮岡 真央子 教授
専門分野
 「文化人類学」

東アジアにおける文化とエスニシティについて調査研究。特に台湾の先住民を主対象とし、植民地経験・国民国家・人類学史との関係に主たる関心を持つ。

中村 亮 教授
専門分野
 「文化人類学」

アフリカ(タンザニア、スーダン)と日本(福井県、千葉県)の沿岸部で、漁民文化、里海・資源管理、文化遺産、地域振興などをテーマに文化人類学研究をしている。

佐野 文哉 准教授
専門分野
 「文化人類学」

オセアニア島嶼域(とくにフィジー)のろう者やその他の障害者を対象に、言語やコミュニケーション、身体などをテーマとする研究をしています。日本のろう者や障害者にも関心があります。

地理学

磯田 則彦 教授
専門分野
 「人文地理学」「人口研究(人口移動研究・人口問題研究)」

先進諸国および発展途上諸国の両社会について研究してきましたが、とりわけ、少子高齢化の進展による人口減少と各社会の人口政策に関心があります。

藤村 健一 教授
専門分野
 「宗教地理学」「文化地理学」「歴史地理学」

これまで主に下記の記事で研究をしてきました。/ 宗教分布/寺院と地域社会の関係の歴史的变化/ 宗教と自然環境の関係/ 宗教と観光の関係/ 信仰の場所としての世界遺産

近藤 祐磨 講師
専門分野
 「地理学」「人文地理学」

松原と言われる日本の海岸マツ林を事例として、人間と自然の相互関係に関心があります。地域や空間を軸として、政治経済、社会、生態系について幅広く考えています。

社会学

平田 暢 教授
専門分野
 「数理社会学」

環境問題などに見られる社会的行為の意図せざる結果や、投票など社会的決定の研究をしています。仮説の構築方法にも関心があります。

本多 康生 教授
専門分野
 「医療社会学」「災害社会学」「社会問題論」

ケアや支援をキーワードに、社会学の立場から、東日本大震災・熊本地震など災害被災地の高齢者支援や民生委員活動、およびハンセン病問題の研究を行っています。

開田 奈穂美 講師
専門分野
 「社会学」

地域開発等の事業が、ときに大規模な環境変化を介して地域社会のありかたに変化をもたらす側面に焦点をあてて、環境と地域社会がどうやって存続しつづけるのかについて研究しています。

哲学・倫理学

関口 浩喜 教授
専門分野
 「哲学」

哲学が私の専門です。ウィトゲンシュタインという不思議な哲学者に魅せられ、いまは「言葉が意味を持つ」という、当たり前の事実(哲学的な)関心を持っています。

林 誓雄 教授
専門分野
 「倫理学」「近現代英米哲学」

18世紀スコットランドの哲学者デイヴィッド・ヒュームの思想を中心に、近現代の道徳哲学・倫理学を研究しています。

竹花 洋佑 教授
専門分野
 「哲学」「近代日本哲学」

日本における西洋哲学の受容という観点から、西田幾多郎・田辺元の哲学を中心とした近代日本哲学を研究している。また、歴史・文化の哲学的考察も行っている。

中村 未来 准教授
専門分野
 「中国哲学(中国思想史)」「日本漢学」

主に新出土文献(竹簡や帛書)を用いた中国古代思想史の研究を行っています。また、それらを受容した江戸期の日本漢学についても関心を持っています。

飯泉 佑介 准教授
専門分野
 「哲学」「近代ドイツ哲学」

近代のドイツ哲学、特にヘーゲル哲学について理論的・歴史的観点から研究しています。哲学の方法論、哲学と歴史、メタ形而上学、絶対者と実存などのテーマに取り組んでいます。

大木 崇 准教授
専門分野
 「古代ギリシア哲学」

古代ギリシア哲学、中でも特にアリストテレスの哲学を研究しています。また、さまざまなパラドックスにも関心があります。

文化学科Q&A

Q1 文化学科に入学したらどんな授業を受けることになるのでしょうか?

A1 文化学科でのあなたの4年間をおおよそ次のようにイメージしてみましょう。

ホップ

必修科目の履修を通じて、自分の関心や興味を発掘したり確認をする。

ステップ

選択科目群から選んでみよう。

type1

人間の思想や行動に興味がある人、生き方やライフスタイルに関心がある人

▶ 現代哲学、応用倫理学、宗教学特講、メディア文化論、などを中心に

type2

社会の仕組みや未来像に興味を持つ人、私たちが生活する都市や地域に関心がある人

▶ 応用社会学、社会心理学、都市地理学、社会学方法論演習、マス・コミュニケーション論、などを中心に

type3

自分たちとは異なる文化、さまざまな文化形態に関心がある人

▶ 民俗文化論、文化人類学特講、比較文化論、宗教文化論、西洋美術史、などを中心に

ジャンプ

卒業論文を書こう。

Q2 先輩たちはどんな卒業論文を書いたのでしょうか?

A2 過年度に提出された卒業論文のタイトルを下に挙げてみましょう。

type1の人

- アウグスティヌス「告白」における罪と救い
- 楽観性/バイアスがスーパークーラー被害の深刻度評価に及ぼす影響
- 先延ばし行動の原因の追究と克服方法の検証
- デカルトにおける神の存在証明
- アリストテレスにおける存在論的優先性
- 仮面ライダーの悪役たちはなぜ世界征服をやめたのか
- マーモンのアノミー論から見る逸脱の変化

type2の人

- オーバーツーリズムの現状と住民の認識 - 湯布院を事例に -
- 暮らしの中の商店街 - 吉塚市場の事例から -
- 福岡県博多湾の民間環境保全団体における「環境保全」のあり方: 活動事例とライフヒストリーから探る
- 「散村地域」: 出雲野郎の集落の形態とその変遷 - 出雲野郎東部を中心に -
- コロナウイルス(COVID-19)の影響による、社会的な苦しみに関する考察

type3の人

- アジア4か国におけるジェンダー観の比較研究
- 北欧の近代美術
- 2010年以降のポピュラー音楽の変容 - カラオケデータの分析 -
- 舞台鑑賞にみるファン文化 - 「ライト」層と「コア」層に着目して -
- ナタリア・ゴンチャロワの作品におけるロシアの文化的アイデンティティの探求

Q3 卒業後の進路は?

A3 学科の性格上、卒業後の進路も多様です。具体的には、一般企業に就職する人、在学中に教員の資格を取得して中学・高校の先生になる人、学芸員の資格を取得して専門職を目指す人、公務員試験に合格して官公庁に勤める人、あるいはもっと専門的に学びたくて福岡大学や他大学の大学院に進学する人たちもいます。どのような道を進むにせよ、大学での4年間の過ごし方が、卒業後の進路に大きく影響することは言うまでもありません。

歴史学科

Department of History



ひとりひとりに向き合う細やかな指導。専門性の高い「考える歴史学」に取り組むことで、「過去」から「いま」の世界がみえてくる。

歴史学科で取り組むのは「考える歴史学」です。日本史では古文書を、東洋史では漢文を、西洋史では欧文を読み解き、考古学では出土遺物等を調査して、情報収集・分析を行ったうえで研究発表を繰り返し、最終的には卒業論文を執筆します。専門性の高い学びですが、段階的に組まれたカリキュラムと丁寧な指導が4年間を支えます。また、学生参加型の授業や学会との連携など、充実した教育・研究環境がもたらすメリットも多々あります。卒業後は培った情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、民間企業や公務員、教員など幅広い分野での活躍が期待されます。学芸員や研究者を目指して大学院に進学する人も増えています。

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修しており、歴史学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 問題点を発見し、それを他者に分かりやすく説明することが出来る人
- C 態度・志向性** 歴史学の高度な専門知識や幅広い教養を生かして社会で活躍したいと考える人
- D その他の能力・資質** スポーツなどの課外活動で優秀な成績をおさめた人や英語の資格を取得した人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



歴史学科での4年間

1年次 基礎教育	2年次 専門教育	3年次 専門教育	4年次 論文・就職	卒業後
<p>高校の「歴史学」から大学の「歴史学」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歴史学入門演習(ゼミ) 少人数ゼミでレジュメづくりや発表、レポート作成に取り組み、情報の収集・整理・発信の手法を学びます。 ●史学概論 さまざまな専門分野を持つ歴史学科の教員の講義を通じて、歴史学に必要な基礎知識や学問的な考え方を身に付けます。 ●各概説科目 日本史・東洋史・西洋史・考古学に関する基本的な論点や知識を学びます。 	<p>調査・研究の能力を高める専門教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎演習(ゼミ) 日本史・東洋史・西洋史・考古学の中から専修を選択し、専門的な学習に取り組んでいきます。基礎演習では各専門分野の論文を読んで発表を繰り返し、読解力とプレゼンテーション能力を高めます。 ●原典講読・考古学方法論 原典講読では古文書や外国語文献の読み解き方を徹底的に学びます。考古学方法論では出土遺物や遺跡の調査方法について学びます。 	<p>専門性を深め、自分の研究テーマを探究する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●演習(ゼミ) 古文書や外国語文献を読み解き、研究課題をみつけてゼミ発表し、ディスカッションすることにより、課題発見能力や議論する能力を高めます。また、卒業論文の執筆に向けて自分の研究テーマを探し、深めていきます。 ●専修ごとの特講 日本史・東洋史・西洋史・考古学の特講科目では、歴史学科の教員が各分野における研究状況について講義し、最新の研究成果や研究方法などを学びます。 	<p>4年間の集大成 卒業論文の執筆</p> <p>これまで学んできた知識や研究手法をいかして調査・研究を進め、自分で設定した研究テーマに関する知見を卒業論文にまとめ、情報収集・分析能力と論理的な思考力を養います。</p>	<p>卒業後</p> <p>4年間で培われた情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、広範囲なフィールドで活躍できる人材に。</p> <p>高い専門性をいかし、教員や学芸員として活躍する卒業生も多い。</p>

専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地歴・公民)
- 博物館学芸員
- 日本語教員

在学生の声



3年次生 林 颯真 さん
(熊本県 熊本国府高校出身)

歴史の“なぜ”を因果から解き明かす。探求と議論を通して歴史の面白さをさらに実感。

Q1 この学科の魅力は？

歴史を学ぶ面白さを実感できます。授業では、歴史的事象の背景や影響を辿っていきます。暗記だけでは気付けなかった物事の因果関係を捉え直すことで、時代の流れやつながりが見えてきます。歴史的な出来事の意味を常に問いながら、絡まった糸を解くように探求する「考える歴史」の学習を通して、「なぜそうなったのか」を深く考える力が身に付きました。

Q2 好きな授業は？

「西洋史基礎演習」です。ゼミ形式の授業で論文を読み、意見を交わしながら西洋史の基礎知識や研究方法を学びます。論文を読解して学問的根拠に基づき議論するうちに、自分の意見を伝える力が磨かれました。授業の中で、女性や先住民に焦点を当ててその視点から捉える「ジェンダー史」という分野に出会えたことで、多角的に考える力を養えたと感じます。

私の時間割(2年次後期)

	月	火	水	木	金
9:00		フランス語ⅡA			
10:40		インターメディアト・イングリッシュⅡ		インターメディアト・イングリッシュⅣ	教育制度論
13:00	国際関係史	西洋史B	教育福祉論	自然科学と人間	西洋史基礎演習B
14:40	西洋史原典講読B			欧米各国史B	フランス語ⅡB
16:20	福岡大学で考える現代社会	概説哲学			

卒業生の声

古文書など、貴重な資料で学べる機会が充実。歴史を社会に伝える意義を実感し、学芸員の道へ。

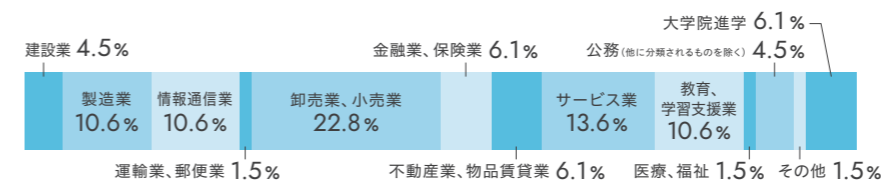
本学科では、日本史・東洋史・西洋史・考古学など多彩なジャンルや時代の知識を養うことができます。また、ゼミや研修旅行等での史跡・博物館への訪問、古文書の史料調査といった機会も豊富なため、より専門的に歴史を学べるのも魅力です。さらに、博物館学芸員課程を受講することで、実習や講義を通して文化財の扱いや展示の工夫を学び、歴史を社会へ伝える意義を実感できます。こうした経験が、学芸員を目指すきっかけとなりました。

現在は学芸員として、大分県臼杵市内の文化財の管理や調査・資料館の展示企画などを担当し、古文書をはじめとする実際の歴史資料を扱っています。その上で、専門的な知識に加え、学科で培った情報収集・分析・資料作成のノウハウや探究心などは非常に役に立っています。社会に出た今、本学科での学びは「歴史」を軸にさまざまな人との出会いや自身の気付きにつながっていると強く感じています。



山田 ひな子 さん (2022年卒業)
臼杵市教育委員会
人文科学研究科 史学専攻 博士課程前期
(2024年修了)

主な就職・進路先 (2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は **53ページ**

日本史・東洋史・西洋史・考古学、専門性を高める4つの研究領域。

専門的な研究方法を学ぶために、2年次からは日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修からひとつを選択します。各専修は専門領域が異なるだけでなく、日々の学習にもそれぞれ個性があります。考古学は発掘や実測などを通じて学生と教員と一緒に実習する機会が多いです。日本史や東洋史は古文書や漢文をじっくり読み解いていく、いわば歴史学の「王道」。他方、西洋史では学生同士が歴史の現代性を意識し、活発にディスカッションを行っています。

日本史専修

■学びの内容

日本史の研究手法は当時の手紙や日記をじっくりと読み解き、その時に何が起きていたのかを正確に復元し、評価するというものです。授業では古文書の読解力と歴史的事象を把握する力を養います。3年次後期には自分のテーマを設定し、卒業論文に向けて研究を深めていきます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 毛利秀包の宗教観とその信仰
- 近世後期の子どもについて
- 満州国における文化政策の展開と美術展覧会



ゼミ旅行で史跡探訪。



古文書読解の授業風景。

西洋史専修

■学びの内容

欧文で記された文献を読み解き、ヨーロッパやアメリカで発表されている研究論文や専門書を読み解く力を養います。また、過去の出来事やそれが発生した経緯が、今日のあり様にどのようにつながってきているのかを意識しつつグループワークを繰り返し、活発にディスカッションを行います。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 中近世ドイツ語圏における洪水と都市復興
- 南北戦争以降のアメリカの教育制度と人種隔離教育
- フランス第三共和政における都市と地方出身者



2・3年次生合同での研究発表会。



ゼミ合宿では登山もありました！

東洋史専修

■学びの内容

福大歴史学科の東洋史では中国史研究を中心としますので、まず中国の編纂史料について扱える能力を培います。そのうえで、おもに王朝の官僚たちが記したその内容を批判的に検討できるよう、他の資史料との対照や先行研究の参照についても訓練を重ねます。3年次からは「卒論構想発表」を重ね、卒業論文執筆に向けて自らの研究にも取り組みます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 秦統一過程の地方支配における身分秩序
- 北宋における周辺国家との対立と将兵制
- 韓国の民主化運動時期における言論統制について



ゼミ後にみんなで慰労会。



ゼミ旅行では海外に行くことも。

考古学専修

■学びの内容

考古学は現在まで残っている物質資料から人類の歴史を復元する学問です。授業では、遺構や遺物を資料として用いることができるように、測量や実測なども行います。各地の遺跡や埋蔵文化財センター・博物館等をめぐって資料調査を行い、卒業論文に向けて研究を深めます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 須恵器甕からみる筑後川流域の地域相
- 中世墓から出土する刀剣類について
- 汽車土瓶から考える昭和戦前期の鉄道旅



実習により調査能力を高めます。



専門書がならぶ考古学研究室。

歴史学科Q&A

Q 歴史は好きだけど、就職は民間を希望。大丈夫？

A 歴史学科のゼミでは、課題設定・情報収集と整理・プレゼン・議論・文章化というプロセスを繰り返すことで、研究能力を高めます。でも、こういう能力って、どんな仕事にも求められるもの。4年間で育んだ能力をいかし、民間で活躍している先輩はたくさんいます。

Q 学芸員資格はどうやったらとれるの？

A 卒業に必要な単位に加えて、学芸員資格取得課程の授業をプラスアルファで受講する必要があります。博物館での実習もあります。また、分野にもよりますが、さらに専門的な知識や技能を身に付けるために、卒業後に大学院へ進学するケースも多くみられます。

Q 教員になりたいが、歴史学科で学ぶメリットは？

A 中学校の社会科教員や高校の地歴科教員の免許は他の学部・学科でも取得できますが、歴史学科で専門的な知識や研究手法を身に付けておくと、いざ教壇に立った時に、教科書の内容をきっちり理解したうえで授業することができます。話題も豊富になりますよ。

Q カリキュラムに入っているゼミってなに？

A 少人数で実施する発表中心の授業で、科目名では「演習」といいます。受講者はテーマについて調べ、レジュメ(発表資料)を作成してプレゼンテーションし、研究を深めます。他の受講生や教員と意見交換することで、コミュニケーション能力も高めます。

資格取得者 INTERVIEW (1)

教員 中学校の社会科教員、教壇に立ってわかったこと。

Aさん



教員になりたくて、中学校の社会と高校の地理歴史の教員免許を取得しました。教員免許をとるには教職科目を多く取らないといけませんが、実際に教壇に立ってみると、歴史学科で専門科目をしっかり勉強したことが役に立っています。

教員免許取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00			地歴科教育法	地誌学	
10:40			西洋の文化と歴史	日本史特講	
13:00	欧米各国史	西洋史演習		西洋史特講	
14:40	東洋史特講	人文地理学			
16:20			社会科教育法	概説社会学	西洋史演習

資格取得者 INTERVIEW (2)

学芸員 考古学の学芸員を目指しています！

Bさん



高校までは考古学になじみはなかったのですが、専門の先生の授業が刺激的で、発掘や研究に興味を持ちました。ゼミの先輩には、卒業後すぐに発掘現場の仕事に就いた先輩もいますが、大学院で研究を続けている先輩もいます。私はどうしようかなあ。

学芸員資格取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40			博物館展示論	考古学演習	日本史特講
13:00		考古学演習	朝鮮史		
14:40	東洋史特講	博物館実習 I			
16:20	文化財学概論	博物館資料保存論		考古学特講	歴史学資料論

1. ゼミ研修旅行案内

歴史学科では専修ごとに、あるいはゼミごとに研修旅行が行われています。史跡や博物館を訪れ、現地・現物をこの目でみるにより知見を深めます。まさに「百聞は一見にしかず」の実践です。研修旅行を通じて教員や学生同士の親睦もはかれます。また、研究報告が中心のゼミ合宿を実施することもあります。

▶ これまでの行き先

- 鎌倉 (日本中世史ゼミ)
- 京都 (日本中世史ゼミ)
- 広島 (日本近世・近代史ゼミ)
- 沖縄 (日本近世・近代史ゼミ)
- 台湾 (東洋史専修)
- タイ (東洋史専修)
- 九重 (西洋史専修)
- 阿蘇 (考古学専修)



アユタヤ(タイ)

2. 歴史学科を母体とする学会、七隈史学会

歴史学科には、教員・大学院生・学生・卒業生を中心に運営され、市民にも開かれた歴史学の学会「七隈史学会」があります。毎年秋に福岡大学キャンパスを会場に研究発表大会が開催され、学界をリードする研究者を招聘しての公開講演と、教員・大学院生・学生・卒業生による研究発表が行われています。歴史学科の学生にとっては、普段はなかなか聞くことのできない最新の研究成果に触れる貴重な機会になっています。

📍 近年の公開講演のテーマ

- 2025年講演 横山伊徳氏「幕末条約港貿易体制の形成と西南諸藩」
- 2024年講演 妹尾達彦氏「大宰府と7～8世紀の東アジア都市史」
- 2023年講演 野上建紀氏「近世陶磁器貿易史」
- 2022年講演 藤原辰史氏「ナチスの食料戦争」
- 2021年講演 福岡良明氏「大衆教養主義の戦後史」

教員紹介

※2026年4月1日現在



西谷 正浩 教授

日本史 専門分野
「日本中世史」

専門は日本中世史です。日本の中世は、古代につながる古い社会と今日につながる新しい社会が交差した転換期です。現在、私たちは先行きのみえない転換の時代にいます。大転換を生き抜いた中世人の貴重な体験は、現代の私たちにも示唆を与えてくれます。



山田 貴司 教授

日本史 専門分野
「中世後期の地域権力論」

室町時代から安土桃山時代までの西国をフィールドに、アジアの諸地域やヨーロッパ勢力との交流も視野に入れつつ、地域権力(戦国大名や国衆)の政治・軍事・文化的動向を研究しています。この時期に特有のダイナミックな史的展開と一緒に解きあかしていきましょう。



梶原 良則 教授

日本史 専門分野
「日本近世・明治維新史」

幕末維新期に力をつけ、やがて幕府を倒して近代国家の建設を行った西南雄藩を中心とした藩政改革(行政・財政・軍事改革や経済政策等)や、西洋近代科学技術(近代的銃砲や蒸気軍艦等)の導入、外国の文物・情報を手に入れる窓口となった長崎の研究を行っています。



福嶋 寛之 教授

日本史 専門分野
「昭和期の教育と国家」

昭和の戦争と教育の関わりについて研究してきました。最近では日本列島の外に視野を広げ、朝鮮・台湾・満洲国・ハワイ・アメリカ・ブラジルなど、海外で生まれ育つ日本人二世を日本国家がどのように統治しようとしたのかについて研究を進めています。



山根 直生 教授

東洋史 専門分野
「中国唐・五代十国・宋代史」

中国の9~11世紀が専門です。「唐宋変革論」としての議論も多いこの時代を、現地調査の手法、軍事社会史・社会学の知見を借りてとらえ直すようとしています。直近の研究課題は、宋代に多くの軍人が寄進して建立された河北省定州市開元寺塔の石刻資料です。



高橋 亨 准教授

東洋史 専門分野
「中国近世の政治制度」

明代中国の政治制度を研究しています。明代は皇帝の独裁的権力が極点に達した時代と見なされていますが、皇帝が日々負った仕事の実態や日常的な文書行政の流れ、君臣関係の様相を研究することで、明代的な政治体制の出現が長い中国史の中で持つ意義を明らかにしようとしています。



則松 彰文 教授

東洋史 専門分野
「中国清代の社会と経済」

中国清代の研究をしています。私はとくに、18・19世紀の世界と中国という視角を大事にしています。西欧諸国のうち最もつながりが深い英国と清国の関係史を研究していますが、その際に、中国茶とインドアヘンは不可欠の要素です。これも世界史の醍醐味と言えます。



渡邊 裕一 准教授

西洋史 専門分野
「中・近世ヨーロッパ史」

中・近世のヨーロッパ、とくに南ドイツの都市アウクスブルクを対象に、環境史、災害史、疫病史の視点から研究を進めています。災害やペスト流行など危機的な状況に直面した社会の対応に着目し、中・近世ドイツ都市に生きた人々の日常と非日常にアプローチしています。



森 丈夫 教授

西洋史 専門分野
「初期アメリカ史」

アメリカ合衆国が独立する前の北米を専門としています。この時代は一般にイギリス人の移民に焦点が当たりますが、現在は広い視点から時代像を見直す研究が進んでいます。私は帝国という広域的な政治体制の動向と先住民-ヨーロッパ人の関係について研究しています。



湯浅 翔馬 准教授

西洋史 専門分野
「西洋近現代史」

近現代フランス政治史が専門です。そのなかでも右派勢力の歴史を研究してきました。主な研究対象は、19世紀後半~20世紀初めにナポレオン体制を支持した人々(ボナパルト派)の思想や運動ですが、革命以降に誕生したさまざまな右派勢力と、それらの間の関係にも関心を持っています。



古澤 義久 教授

考古学 専門分野
「東北アジアの先史文化」

韓国、北朝鮮、中国東北地区、ロシア沿海州といった東北アジアの新石器時代~青銅器時代の文化を研究しています。そして、それらの地域と縄文時代~弥生時代の九州の関係についても研究しています。また、戦国時代~清代の中国貨幣についても研究しています。



桃崎 祐輔 教授

考古学 専門分野
「古代・中世の考古学」

古墳時代の馬具や騎馬文化、祭祀や酒造り、古代・中世の仏教考古学、日宋・日元貿易に関係する沈没船に積まれた鉄素材や陶磁器などを研究しています。みずから遺跡や遺物、研究テーマを見つけ出し、知的好奇心を追求する学生を求めています。厳しく学問を鍛えるので一緒に研究しましょう。



大重 優花 助手

考古学 専門分野
「中近世の金工品」

卒業論文がきっかけで鐘を研究しています。普段は除夜の鐘等でしか見る機会はないですが、鐘や刻まれた銘文は歴史を雄弁に語ってくれます。考古学は、モノから人類の過去を研究する学問です。皆さんも夢中になれるモノをみつけて、人類の歴史を明らかにしましょう。



歴史学科の年間スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 科目登録/前期開始 対面式・新入生歓迎会(1年次) 	9月	<ul style="list-style-type: none"> 後期開始 七隈史学会大会 歴史学科を母体とする学会の研究発表会・講演会です。 
5月		10月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習 4年次の教員免許取得希望者の実習。時期は実習先によります。 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 学園祭 卒業論文構想発表 3年次のゼミ(専修)単位で実施。時期はゼミ(専修)によります。
7月	<ul style="list-style-type: none"> 前期終了/定期試験 オープンキャンパス 	12月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文提出(4年次)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 博物館実習 4年次の学芸員資格取得希望者の実習。時期は実習先によります。 ゼミ(専修)研修旅行・合宿 3~4年次のゼミ(専修)単位で実施。時期や行き先はゼミ(専修)によります。 歴史学入門演習研修旅行(1年次) 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 後期終了/定期試験 卒業論文口頭試問(4年次) 提出した卒業論文について、指導教員の質疑に答える口頭試験です。 卒業論文発表会 優秀な卒業論文の執筆者が、歴史学科の教員・学生の前で口頭発表します。 
9月		2月	<ul style="list-style-type: none"> 専修分け説明会(2年次) 自身の興味・関心に即して、2年次からの専修を選択します。 ゼミ分け説明会(3年次) 自身の興味・関心に即して、3年次からのゼミ(卒業指導教員)を選択します。 
		3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式(4年次) 

歴史学科が刊行してきた歴史学の入門書

大学での学びを充実させるためのポイントは、暗記中心の「高校の歴史学」から、問いと考察を重視する「大学の歴史学」へのスムーズな移行です。これを支援するために、歴史学科ではこれまでに3冊の入門書を刊行しています。書店や図書館にいったら、ぜひ手にとってみてください。教科書に書いてあることは正しいの？書かれていない史実は不要なの？そんな問いかけから、学びははじまるのです！



福岡大学文学部歴史学科編 『歴史はおもしろい』 (西日本新聞社、2006年)



福岡大学文学部歴史学科編 『歴史はもっとおもしろい』 (西日本新聞社、2009年)



福岡大学文学部歴史学科編 『18歳からの歴史学入門』 (溪流社、2019年)

日本語日本文学科

Department of
Japanese Language and Literature



広い視野で学ぶ日本語と日本文学を通して 専門的知識と洞察力を備えた、豊かな人間性を持つ人材を育む。

私たちの文化、社会、生活の根幹となる日本語と、それにより表現された日本文学。日本語日本文学科では、全時代をカバーする教授陣によって、それらを体系的に学びます。また、充実した比較文学のカリキュラムは、「世界の中の日本」というより広い視野での研究を可能にしています。演習中心の少人数制授業を通して、日本語と日本文学の根幹を学び、専門的な知識とともに、ものごとを深く考える力を備えた、豊かな自己の確立を目指します。




求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修し、日本語学・日本文学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動、幅広い読書経験をもとに、正確に物事を考え自らの言葉で表現できる人
- C 態度・志向性** 自らの日本語能力と日本文学の素養をさらに向上させ、積極的に生かしていこうとする人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



日本語日本文学科での4年間

1年次 基礎教育	2年次 専門教育	3年次 専門教育	4年次 論文・就職	卒業後
<p>基礎を学ぶ</p> <p>新入生はまず、「日本語日本文学基礎演習」で大学での学び方の基礎を身に付けます。「日本文学史」「日本語学概論」「日本文学概論」「比較文学概論」で学科のさまざまな専門分野の知識を得て2年次以降の専門教育の準備を行います。さらに「古典文学講読」で古典の基礎を学びます。</p> 	<p>さまざまな分野を学び、自らの興味、関心を発見する</p> <p>卒業論文を指導する10人の教員が、それぞれ「調査研究法」の授業を担当します。この授業を通じて、日本語・日本文学に関するさまざまな分野の調査の方法、データの収集とその分析、書誌学や文献学の初歩、研究方法とその組立て方などを学びます。3年次の演習(ゼミ)や4年次の卒業論文につながる重要な科目です。また、「講読」や「日本語の歴史と方言」などの基礎的な科目も1年次より引き続きカリキュラムに組み込まれています。これらの科目を学ぶ中で、自らの興味・関心を深めます。</p>	<p>ゼミに所属し、自らが主体的に考え、まとめ、発表する</p> <p>調査研究法を担当した10人の教員は、それぞれ演習(ゼミ)を担当します。通常3年次は二つのゼミに所属しますが、授業は3年次と4年次の合併で行われ、学年を超えた縦のつながりが生まれます。自ら調べ、考え、まとめ、発表することによって、卒業論文のテーマを発見していきます。その他、各ジャンルの特講では、より深い専門的な講義が行われています。</p> 	<p>卒業論文</p> <p>3年次で履修したゼミの中から一つを選び、4年間の学習の成果として卒業論文を作成します。日本語日本文学科のカリキュラムは、この卒業論文に向けて組み立てられており、必修科目となっています。論文作成のために費やした多くの時間は、卒業後の貴重な思い出となることでしょう。</p> 	<p>教育をはじめさまざまな分野で活躍できる人へ</p>

専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 日本語教員

在学生の声



3年次生 湯浅 凜南さん
(鹿児島県 鹿屋中央高校出身)

複眼的視点で作品世界を読み解く。
学びの中で文学の楽しさを再発見できた。

Q1 この学科の魅力は？

先行論文を読み、疑問点や反論を考える機会が多いところです。論文で述べられている意見を自分の視点から検証することで、既出の考えに疑問を持ち、主体的に学ぶ姿勢と変わりました。文学を読むことで、当時の時代背景や作者の人生、その他の芸術などを探索することも知り、文学の楽しみ方が広がるとともに、文章力の向上にもつながりました。

Q2 好きな授業は？

「比較文学概論」です。一つの文学作品について、音楽や絵画などさまざまな視点から関連性を研究します。時代背景や作中に登場する芸術の意味を知っていると、作品を読む姿勢が変化し、物語を深く考察する面白さに気付かされました。また、作者が込めた想いなどから社会情勢や文化を捉え、多様な視点で文学を味わえるようになりました。

私の時間割(1年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00		日本語学概論 I	フレッシュマン・イングリッシュ I		
10:40	教育心理学	教職概論	日本語日本文学基礎演習	比較文学概論	芸術研究 I
13:00		中国語 I A		コンピュータ入門 I	フレッシュマン・イングリッシュ III
14:40			日本文学史 I		生涯スポーツ演習 I
16:20			地域語研究	日本文学概論 I	中国語 I B

卒業生の声

地元の魅力を多くの人に伝えたい。
ゼミでの学びが仕事選びの原点になった。

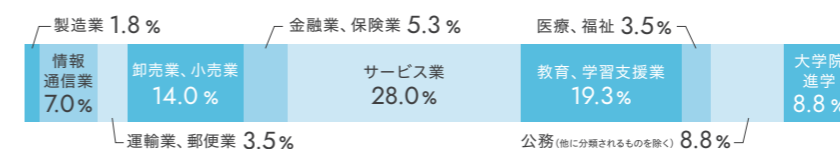
本学科では言語・文法研究のゼミに所属し、言葉の歴史をひもとき、人に分かりやすく伝えることに取り組みました。その経験を通して、地元・福岡の歴史や魅力を日本全国に伝えたいという思いが芽生え、次第に地域に貢献したいという志へと変化しました。現在は「ふくや味の明太子工場ハクハク」の館長として、旅行者に福岡の魅力を発信する役割を担っています。

主にプロモーションやマーケティングの業務に従事していますが、多くの方に来館いただき、商品を購入していただけたときは、自分の伝えたいメッセージがお客様に届いたと実感でき、大きなやりがいにつながっています。ゼミや模擬授業、教職課程で培った「物事を分かりやすく伝える経験」、そして多様な人と学び合った環境が、「伝える」ことに対するアプローチの着眼点を育ててくれたのだと思います。本学科での学びは、私の大きな武器となっています。



本田 祥久さん(2017年卒業)
株式会社ふくや

主な就職・進路先(2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

日本語学、日本文学、比較文学、 3つの系列を学び、 日本語日本文学のスペシャリストに!



日本語学系列、日本文学系列(古典・近代)、比較文学系列の3つに分かれた幅広い専門科目を学びます。

- 一つの分野を深く学ぶだけでなく、他の分野についても横断的に学ぶことで、卒業後、さまざまな分野で活躍するためのバランスの取れた知識と視野を身に付けることができます。
- 各分野の最前線で活躍するエキスパートの教員がそろっており、古代から現代までのあらゆる時代、さまざまな地域の日本語・日本文学を専門的に学ぶことができます。



日本語学

日本語の歴史や方言を知り、
現在への理解を深める。

日本語の歴史や方言、現代の日本語を対象に、日本語の多様な姿を体系的に学びます。時代や地域による言葉の違いにも注目し、音韻・語彙・文法の特徴や変化を丁寧に読み解くことで、言語としての日本語への理解を深め、言葉を客観的に捉える力を身に付けます。さらに、日本語研究に必要な不可欠な情報処理の方法を学び、実社会に役立つ実践的な能力の獲得を目指します。

卒業論文の主な内容やテーマ

- 江戸時代における感謝表現の地域差について
- 福岡県柳川市方言の音声的特徴
- 「文字を書く」ということの言語化について



科目 PICK UP 日本語史演習

日本語をデータ分析する

古代から近代に至るまでの大量の言語情報を集めた「日本語歴史コーパス」と呼ばれる資料を活用して、日本語の歴史を明らかにしていきます。「日本語歴史コーパス」には、『万葉集』や『源氏物語』から、梶井基次郎『檸檬』や川端康成『伊豆の踊子』などの近代小説まで、多様なデータが収められています。それらを細かく分析する方法を学び、自由に活用できるようになることを目指します。

日本文学(古典)

古典文学に描かれた、
人間の心のあり方や表現をさぐる。

江戸時代以前に書かれた文学作品を読み解く中で、そこに表れた人間の心のあり方や表現の工夫を考えます。また、作品の内容理解に留まらず、江戸時代まで広く用いられていた「くずし字」を用いて原典を精読していきます。古い時代の文献を当時のありのままの姿で読むことによって、活字資料からは見えにくい課題を探り、一次資料を丹念に読み解く力を養います。

卒業論文の主な内容やテーマ

- 和歌からうかがえる七夕
- 『源氏物語』における色彩表現と機能
- 『南総里見八犬伝』の悪について



科目 PICK UP 古典文学調査研究法

本物の資料から学ぶ

主に江戸時代以前に制作された和本に関する知識を学び、古典文学を読み解くために必要な力を身に付けます。古典文学は、今、書店や図書館に並んでいる洋装本に書かれていたのではなく、和本と呼ばれる形の本に書かれていました。そこで、実際に、本学が所蔵する200年以上前に作られた和本の本物に触れながら、書かれた文字はもちろん、書物の形や色からさまざまな情報を読みとり、考察を深めます。

日本文学(近代)

近代文学を読み解き、
歴史や社会との関わりを探究する。

明治以降に書かれた文学作品を対象に、丁寧に読み解くことを通して近代文学研究に必要な方法を学びます。作品の表現や主題を探究しながら、その背後にある歴史的・社会的出来事との関わりにも注目し、文学が担ってきた役割を多角的に考察します。さまざまな文学作品に向き合うことで、根拠に基づいて文学作品を論理的に説明する力を養います。

卒業論文の主な内容やテーマ

- 江戸川乱歩『押絵と旅する男』論
- 太宰治『人間失格』論
- 小川洋子『博士の愛した数式』論



科目 PICK UP 日本文学概論

日本文学史 — 近代から現代へ

明治期から現代に至るまでの日本文学の歴史を概観します。坪内逍遙の「小説神髓」登場以降、大正の終わりから昭和の初めにかけて表現の変革を目指して活動した新感覚派や、それと重なる時期に社会変革を目指したプロレタリア文学、また、国策文学が中心となった戦時下の文学、敗戦後に新たな文学のあり方を模索した戦後派など、どのような形で文学が書かれ続けてきたか、その具体的な様相をさぐります。

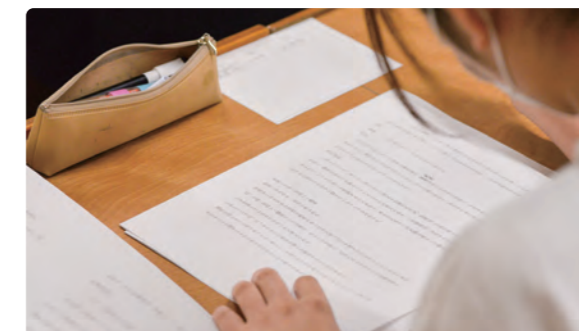
比較文学

音楽、絵画、演劇との関わり、
柔軟な発想で文学を考える。

日本文学を外国の文学との関係から考察するとともに、音楽や絵画、演劇、メディアなど他分野との関係にも目を向けながら、文学作品を幅広い文化的文脈の中で捉え直し、多角的に読み解く方法を学びます。従来は見過ごされがちであった要素も含めて横断的に考察することによって、広い視野と柔軟な思考を育み、それらを実社会で生かせる力へとつなげていきます。

卒業論文の主な内容やテーマ

- 現代メディアにおける『竹取物語』
- 夏目漱石『吾輩は猫である』における美食と胃痛
- 高村光太郎の詩における後期印象派美学の影響



科目 PICK UP 比較文学特講

日本近代文学と西洋文化

西洋から移入したカフェという空間が、日本近代文学作品の舞台として、どのように機能していたかを考えます。今でこそどんな人でもくつろげるカフェですが、もともとは、知識人のサロンとしての性格が色濃くありました。そうしたカフェの歴史も踏まえながら、永井荷風、谷崎潤一郎、佐多稲子、林芙美子などの小説を読み解き、日本の都市生活の西洋化という側面から日本文学における西洋の影響を考察します。

訪書旅行

2年次には、学科主催の行事として、京都を中心とした関西圏に出向き、現地の図書館や博物館などで貴重な典籍を見学し、文学作品の舞台となった場所を訪れる研修旅行を実施しています。古書や文学遺跡に直接触れることで得られる感動を共有し、文学への理解を深めるとともに、学修意欲の向上につなげています。

訪書旅行体験記

普段はガラスケース越しでしか見ることのできない古い時代の書物を、実際に手に取って見ることができました。中には、今から800年以上も前の鎌倉時代に書かれた書物もあり、手が震えるほど緊張しましたが、本当に得がたい経験になりました。先生や学芸員の方からの解説もあり、文学やその背景についての理解をいっそう深めることができました。宿泊先では百人一首大会も行われ、学生同士や先生たちと交流を深めることができ、日本語日本文学科で学び続けていく上での大きなモチベーションになっています！



貴重な古典籍を閲覧



百人一首大会も開催

本学科を卒業した後の「進路・就職」は？

日本語や日本文学を読み解き、味わい、その価値を伝えること。そこで身に付いた力を生かし、あらゆる分野に進むことができます。

日本語日本文学科のカリキュラムは、単に日本語・日本文学に関する知識を学習するだけではありません。言語・文学を素材として、自ら考え、論理的に表現する力を身に付けることができます。そこで養った能力を生かし、専門的な知識が求められる国語科教員などの仕事はもちろん、それに留まらず、幅広い職種で活躍する未来が期待できます。



先輩 Aさん

国語科教員

言葉の意味や使われ方、技法、表現の工夫を学んだ経験は、国語教師として働く今も、日々の授業で役立っています。言葉や文学の大切さを常に見つめ直し、その価値を磨き続けたいと改めて実感しています。



先輩 Bさん

日本語教員

日本語の文法や表現を体系的に学んだ経験は、日本語教員として学習者に分かりやすく説明する上で大きな力になっています。言葉の背景にある文化や考え方も伝えられる点に、学科で学んだ意義を感じています。



先輩 Cさん

出版・メディア

文章を読み解く力や、相手に伝わる表現を考える力は、編集や制作の現場で日々生かされています。日本語日本文学科での学びを通して培った言葉への感覚が、企画立案や原稿チェックなど、多くの業務の基盤になっています。



先輩 Dさん

大学院進学

基礎から丁寧に学んだ日本語・日本文学の知識が、大学院での専門的な研究の土台になっています。一つ一つの言葉の意味を解き明かし、自分の考えを論理的にまとめていく中で、研究に向き合う姿勢も大きく変わりました。

教員からのメッセージ

※2026年4月1日現在



衣畑 智秀 教授

日本語学 専門分野:日本語史
「日本語の文法の歴史」

日本語の文法史を研究しています。特に関心のあるテーマは、「係り結び」や疑問文の歴史です。係り結びはどのように成立し消滅したのか、係り結びの消滅は、日本語の文法にどのような影響を与えたのか。その影響関係は、現在も係り結びが使われる琉球諸語で、どのような形で表れているのか。授業では、係り結びが活発に使われていた上代・中古に加え、その後の歴史も含めて学んでいきます。



江口 正 教授

日本語学 専門分野:現代語
「現代語の音声・意味・文法」

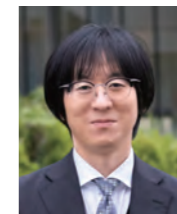
現代日本語関係の科目と、日本語教員養成科目を担当します。普段言葉を使うときにはいちいち文法は気にしませんが、言葉の使い方を少し真面目に考えると、不思議なところが出てきます。そういう謎を見つけ、解いていくのが私の目標です。いつも自分が使う言葉の中に、誰にも見つけられなかった「謎」が潜んでいるのが分かった時はとてもわくわくするのですが、その感じを共有できるように一緒に学んでいきたいと思っています。



松岡 葵 講師

日本語学 専門分野:方言
「福岡県柳川を中心とした方言」

日本語の方言、中でも特に出身地である福岡県柳川の方言を研究しています。調査地に赴いてフィールドワークを行い、その方言を話す方からことばを教えていただくという手法をとっています。「方言」というと、標準語が「なまった」ものと思われがちですが、一つの方言というのは、標準語とは似て非なる独自の規則を持った言語体系です。授業では、その体系を記録していく面白さと難しさを、皆さんと一緒に味わってみたいです。



須藤 圭 教授

日本文学 専門分野:古典文学(中古)
「平安時代の物語と和歌」

源氏物語をはじめとした、平安時代に成立した中古文学を研究しています。これらの中古文学は、抜群に面白いストーリーやキャラクターを持つことはもちろん、現代においても、絵画、芸能、映画、漫画、アニメ、舞台など、さまざまな作品に影響を与えています。およそ1000年前に書かれた中古文学を、いま、私たちが読むことの価値は、どこにあるか。このことを考えながら、文学が持つ想像力と可能性を問いなおしたいと思っています。



大坪 亮介 准教授

日本文学 専門分野:古典文学(中世)
「中世の軍記物語」

中世文学、特に南北朝動乱を描いた軍記物語『太平記』を主たる研究対象としてきました。およそ六十年にもわたって朝廷が分裂し、全国規模で戦いが繰り返された混沌の時代を、当時の人々はいかに理解し、いかに叙述しようとしたのか。また、『太平記』はいかなる時代的背景によって、いかに変化していったのか。こうした点に興味を持っています。



大関 綾 講師

日本文学 専門分野:古典文学(近世)
「江戸時代の文学・文化」

近世文学、特に幕末の長編合巻という絵入小説を研究しています。当時の人々が作品をいかに受容し、物語がいかに長編化したかについて、文化的背景や「翻作」という作法をもとに分析しています。長編合巻は古典作品を随所に取り込んでいるため、ジャンルを問わず多くの作品と一緒に学んでいきたいと思えます。また最近のポップカルチャーは幕末のものと同様点があると考えています。自身の問題関心に引きつけ、古典文学に親しみましょう。



永井 太郎 教授

日本文学 専門分野:近代文学
「明治・大正時代の小説」

専門は明治末から大正期にかけての近代文学です。内田百閒という作家の研究ですが、同時代の小説や思想にも関心を持っています。授業では夏目漱石や内田百閒をはじめ、多くの作家を扱うようにしています。個々の作品について論じるだけでなく、小説に関する、より一般的な問題についても考えていきます。



畑中 佳恵 准教授

日本文学 専門分野:近代文学
「近代文学と場所イメージの関わり」

日本近現代文学を研究しています。とくに、「長崎」イメージの形成と文学作品の関わりについて調べたり考えたりしてきました。大学での数年間は、自他の常識となっている価値観やイメージをいろいろな角度から吟味することやその重要性を学べる、かけがえのない期間です。自分と異なる時代、属性、人間関係を生きる人々の視点が織り込まれた文学作品は、その学びを手助けしてくれます。さまざまな作品との出会いを楽しみながら、一緒に読み解いていきましょう。



中野 和典 教授

日本文学 専門分野:近代文学
「近現代文学・文学教材・原爆文学」

昭和期以降に書かれた日本文学を研究しています。この研究領域は、いわゆる「時の洗礼」を受けてないという意味では最も洗練されていないものと言えますが、それゆえに「現在の問題」により直接的に接近できる可能性も持っています。ただし、それは目の前にあることだけに目を向ければ見えてくるというものではありません。時代や場所を越えてより多くのものごとに目を向けることによって初めて見えてくる問題を、学生の皆さんと一緒に追究していきたいと考えています。



林 信蔵 教授

比較文学 専門分野:近代文学
「近代文学における西洋文化の影響」

比較文学を担当しています。比較文学とは、文学作品をそれ自体としてだけでなく、それと隣接するさまざまな要素との関係から考えてみる学問と言いかえることができます。私は、日本近代文学におけるフランス文学・文化の影響、音楽や絵画に造詣が深い作家の文学作品の特徴について考えてきました。また、日本文学がどのように海外で紹介されているのかなどについても関心があります。

教育・臨床心理学科

Department of
Education and Clinical Psychology



教育と臨床心理、2つの領域の統合で 人を育み、人の心に関わる。

教育・臨床心理学科では、「教育学」と「臨床心理学」の2つの領域を総合的に学ぶことで、自分の生涯にわたるキャリア形成について主体的に考え、人を支援するための知識とスキル、態度を身に付けていきます。
将来の進路に応じた、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックの3つのトラックで学んでいきます。

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 教育学と臨床心理学の2つの分野を学ぶのに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 人と社会に向きあい、課題を発見し、解決にむけて他者と協力できる人
- C 態度・志向性** 人と社会に興味をもち、新しい学びや出会いに積極的な人
- D その他の能力・資質** 自ら目標を立てて、英語の資格を習得した人や課外活動などで顕著な成果を挙げた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



教育・臨床心理学科での4年間

1年次 基礎教育

「キャリア形成基礎論Ⅰ」を受講し、「公認心理師トラック」、「キャリアデザイントラック」、「学校教員トラック」の特徴を知ると共に将来の進路イメージを作り、1年次終了時にトラック選択を行います。

希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

2 / 3 / 4年次 専門教育 / 論文・就職

- 所属するトラック(詳細は24ページ〜)の科目を中心に学びます。各トラック独自の特色のある実習の機会があります。
- 他のトラックで開講されているさまざまな専門科目も履修可能です(一部制限あり)。
- 2年次後期には「キャリア形成基礎論Ⅱ」を受講し、自分のこれからの学びとキャリアについて具体的に考えます。
- 3年次からは、選択したトラックにかかわらず、自分の興味関心に従って専門演習(ゼミ)を選択することができます。



卒業後

地域社会や学校、
病院、企業等で
専門的知識と
スキルを生かして、
人を支援する人材へ

専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- ☑ 公認心理師国家試験受験資格(大学における必要な科目) ☑ 中学校(社会)・高等学校(公民)教諭一種免許
- ☑ 社会教育主事(基礎資格) ☑ 日本語教員

在学生の声



3年次生 増本 颯斗 さん

(福岡県 筑前高校出身)

教育学と心理学、それぞれの学びを往還。
多様な見方を知り、視野が広がった。

Q1 この学科の魅力は？

教育学と心理学を横断しながら物事を深く学べる点です。2年次からは進路に合わせて専門分野を深めます。本学科の学生が集まるサークル「教育研究会(PET)」があることも魅力で、学年を越えた交流が増え、人脈が広がりました。幹事として運営に携った経験を通して、意見をまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりする対人調整力が身に付きました。

Q2 好きな授業は？

「福祉心理学」です。児童福祉・障がい者福祉・高齢者福祉などに関する法律や公的制度、支援方法を学習します。実際の事例をもとに、支援方法についてグループで議論するうちに、授業で学んだ知識が現場でどう活用されているかを理解できました。また、同じ事例でも着眼点人がそれぞれで違うことに気づき、他者の行動の背景や心理を深く考えるようになりました。

私の時間割(2年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00		スペイン語ⅡA			
10:40	心理学研究法	インタメディアイト・イングリッシュⅠ		インタメディアイト・イングリッシュⅢ	健康・医療心理学
13:00	司法・犯罪心理学		福祉心理学		基礎演習B
14:40	発達心理学		感情・人格心理学		スペイン語ⅡB
16:20				学習・言語心理学	産業・組織心理学

卒業生の声

教育学と臨床心理学を学んだ日々が
心理職として必要な思考力や視点を育てた。

「教育学」「臨床心理学」の二つの学問から人の心や社会を学び、多様な価値観に触れることができる本学科は、じっくり自分自身と向き合った上でキャリアを選択したかった私にとって、理想的な環境でした。二つの視点から学ぶことで、ここなら自分の可能性が広がられると確信し、学びが社会貢献に生かせる道を模索しました。

教職課程やアルバイトでさまざまな環境にいる子どもたちと接していくうちに「自分はどんな立場で子どもたちを支えたいのか」と考えるようになりました。この経験をきっかけに、現在は心理職として心理検査やカウンセリング、保護者支援などに携わっています。答えのない課題に悩むことも多いですが、学生時代に培った「多角的な視点」や「柔軟な思考力」を生かし、相談に来られた方々と共に答えを探しています。

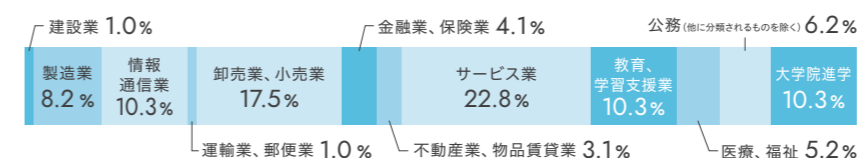


嵯島 詩朋子 さん (2021年卒業)

福岡大学筑紫病院(臨床心理士)

人文学部研究科 教育・臨床心理専攻 博士課程前期
(2023年修了)

主な就職・進路先(2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は 53ページ ●

本学科が採用している「トラック制」とは？

トラック制と似たものに「コース制」があります。コース制は専門に特化した学びが可能である一方、他のコースの授業が取りにくい、コース同士の交流が少ない、などのデメリットもあります。

本学科の最大の特長は教育学と臨床心理学の両方が学べること。その持ち味をこれまで以上に生かすために、私たちは★「トラック制」を導入しました。



Point
トラック制によって、例えば「教育や学校現場に理解のある公認心理師」、「子どもの心理や対応に詳しい学校教員」、「教育と心理の知識を生かせる社会人」を目指すことができます。

「教育学」と「臨床心理学」の両方を学ぶ魅力を最大限生かす
=「トラック制」!

公認心理師トラック

心に寄り添い、人に関わる
心理のプロフェッショナルを目指して。

公認心理師を目指す人向けのトラックです。「総合大学の良さ」を生かし、医学部、病院、附属校とも連携しています。学部のみならず大学院も公認心理師対応のカリキュラムになっています(実習の関係から、人数制限があります)。

実習紹介

心理実習

福岡大学病院、福岡大学附属大濠高等学校、福岡大学附属若葉高等学校、発達教育センター、法務少年支援センター、福岡大学臨床心理センター・附設学校適応支援教室ゆとりあなどで見学等の実習を行います。公認心理師が社会の中で果たす役割を具体的に学ぶことはもちろん、公認心理師としてのキャリアについても考えます。

充実したセミナー

公認心理師国家試験・現役合格体験談セミナー

現役合格者に、合格に向けた具体的な取り組みについて紹介してもらいます。学部での学びはもちろん大学院での経験、年齢が近い公認心理師ロールモデルとして多くのことを知ることができる、大変貴重な機会です。



予想される進路

- 大学院進学(公認心理師)
- 公務員・各種団体職員(福祉、司法、矯正領域の心理専門職)
- スクールカウンセラー
- 一般企業におけるカウンセラー、人事・教育・マーケティング部門等の職員
- 医療機関職員
- 福祉施設職員
- NPO、NGO職員
- 公認心理師トラックでの学びを生かし、民間企業(心理職以外) ...etc.

Graduate's Voice 卒業生の声

2021年3月まで勤務した児童相談所では、これまで一時保護所で子どもたちの生活場面での行動観察や心理療法を行いました。現在は子どもへの心理検査、心理療法、家族面接に携わっています。「チームで子どもたちのためになる支援を」を目標に、日々自己研鑽に励んでいます。



末永 智子
[福岡県精神保健福祉センター]

キャリアデザイントラック

教育学と臨床心理学の学びを
社会の多様な領域で生かす。

教育学と臨床心理学は専門職になるためだけの学問ではありません。このトラックでは、講義や演習に加え、トラック独自の実習を通し、民間企業、官公庁、NPOなど多様な領域で活躍できる人材の育成を目指します。

実習紹介

キャリアデザイン実習

福岡都市圏の企業が抱える課題を解決するために、企業の担当者や大学教員らとともに調査や発表を行います。実習における出会いや経験を自他のキャリア形成に生かすことも目的としています。

充実したセミナー

就活対策セミナー、キャリアデザインセミナー

教育・臨床心理学科生が授業で身に付けた能力や資質を生かして、就職活動等を成功させていく。そのためのテクニックを学ぶためのセミナーを、優れた専門家を招いて実施しています。



予想される進路

- | | |
|--------------------|---------------------|
| [業界] | [職種] |
| ● 地元有力企業、関東関西の有力企業 | ● キャリアカウンセラー、 |
| ● 公務員 | ● キャリアコンサルティング、 |
| ● 自治体、公益財団法人、NPO | ● 人事担当、企画立案 ...etc. |
| ● 教育関連企業、人材育成・派遣企業 | |

Graduate's Voice 卒業生の声

本学科での学びを通して、人として強く、そして他者に少し優しくなれた気がします。教師を志して進学しましたが、教師以外の進路を目指す同級生と学べたのも貴重な経験でした。迷うことも多かったのですが、結果的に記者になれたのは本学科だから選べた進路だと思っています。



江上 晋太郎
[時事通信社・経済部]

学校教員トラック

多様な社会で生きていく子どもたちを育てる
教員・支援者の養成。

このトラックでは、「多様性」をキーワードに、多様な子どもたちへの支援や多様化する社会を生きる子どもたちの育成の在り方を考える講義・演習、さらには課外セミナーを通し、学校教員や教育支援者を養成します。

実習紹介

教育デザイン実習

福岡大学の高大連携プログラムの一つとして、高校生向けに「大学での学び」に関するイベントを企画し、実施します。グループワークや課題解決学習を通して、学校教員を含めた教育業界で活動するためのスキルや姿勢を身に付けることを目的としています。

充実したセミナー

LP×多様性セミナー、教採対策セミナー

課外でも、多様性(性の多様性、外国人児童生徒等)に関する学びを深めたり、教員採用試験に向けた対策をしたりする機会があります。教員との距離も近く、学生同士の交流の機会にもなっています。



予想される進路

- 中学校教諭(社会科)、高等学校教諭(公民科)
- 小学校教諭(※別途プログラムの受講が必要)
- NPO(フリースクール)、教育関係企業
- 大学院進学(教育学の大学院、教職大学院等)
- 公務員(教育行政職) ...etc.

Graduate's Voice 卒業生の声

実際の教育現場でも見られるジェンダーの問題や外国にルーツを持つ子どもたちなど、教育学について心理学と並行しながら幅広く学ぶことができるのは学校教員トラックならではの魅力だと思いますし、現在教師として働く上でもこの学びが非常に役立っています。



押川 聖弥
[宮崎県・延岡市立岡富中学校]

教員・研究の紹介

教育・臨床心理学科に所属している教員をご紹介します。

※2026年4月1日現在



伊藤 亜希子 教授

専門分野

「異文化間教育学」
「比較教育学」

異なる文化的背景を持つ人々が共に生きるために、どのような教育支援を行うことができるのか、ドイツと日本における理論、政策、実践を研究しています。多文化共生のまちづくりに関心を持っています。



植上 一希 教授

専門分野

「教育学」
「キャリア教育」

研究テーマは専門学校における教育とキャリア形成です。日本の職業教育機関と異なる専門学校における教育やキャリア形成の実態や意義の解明を進めるために、専門学校関係者に対するさまざまな調査を実施しています。



芦谷 将徳 講師

専門分野

「臨床心理学」

子どもが通う小児科クリニックでの心のサポートや、学校での特別支援教育について研究しています。困りごとを抱える子どもや、その家族の気持ちに寄り添いながら、どのような支援が役立つのかに関心を持っています。



勝山 吉章 教授

専門分野

「西洋教育史」

主としてフリードリヒ・フレーベルについて研究しています。1840年に世界で初めて幼稚園を設立したフレーベルは、遊びに教育的意義を認め、遊具や遊戯を開発しました。遊具や遊戯の教育的意義についても研究しています。



高妻 紳二郎 教授

専門分野

「教育行政学」
「教育経営学」

英国を素材に、教育を支えるさまざまな仕組み(制度、行政等)の評価・改善に関して、従来型の公教育システムが変容し地方教育行政の枠から飛び出て台頭するニュータイプの公教育の功罪を実証的に研究しています。



坂本 憲治 教授

専門分野

「臨床心理学」「多職種協働」
「キャリアカウンセリング」

主に青年期・成人期を対象とした心理支援の研究をしています。一対一の関係の中で行う治療的カウンセリングだけでなく、健康な人々の成長に役立つカウンセリングや、多職種と協力して行うチームアプローチに関心を持っています。



佐藤 仁 教授

専門分野

「比較教育学」
「教師教育」

アメリカ合衆国を中心に、諸外国の教育制度や教育政策を研究しています。特に、教員養成の質を確保する仕組みに関心があり、諸外国の実態を分析して、日本の教員養成制度への示唆を導き出すことを目指しています。



添田 祥史 教授

専門分野

「社会教育・生涯学習」
「成人基礎教育」

夜間中学や識字教室を主たる研究フィールドにしています。何らかの事情で学齢期に教育を受けることができなかった人の学習権保障に関心があります。



田村 隆一 教授

専門分野

「フォーカシング指向心理療法」
「夢フォーカシング」
「カウンセリング」

カウンセリングの技法の一つであるフォーカシングを研究しています。まだはっきりと言葉にならない感覚に注意を向けて、そこから生まれるものを大事にする方法です。フォーカシングによる夢分析も研究しています。



長江 信和 教授

専門分野

「臨床心理学」

インターネットを介した遠隔心理支援(遠隔カウンセリングやアセスメント、コンサルテーション、心理教育)の開発および効果検証を行っています。また、公認心理師の資質向上についても研究テーマとしています。



藤田 由美子 教授

専門分野

「教育社会学」
「『ジェンダーと教育』研究」
「子どもの社会学」

これまでの研究テーマは以下の通りです。(1)幼児期における子どものジェンダー構築、(2)幼児教育・保育・子育て支援におけるジェンダー問題、(3)子ども向けメディアに描かれるジェンダー。



松永 邦裕 教授

専門分野

「子どもの心理臨床」

不登校や発達障害、被虐待の子どもなど、子どものさまざまな問題を発達の視点(子どものそだち)から捉え、臨床心理学的な援助の在り方について実践的な研究を行っています。



満身 史織 准教授

専門分野

「臨床心理学」
「子育て支援」
「コミュニティ・アプローチ」

乳幼児を育てる親や、学童期の子どもに対して地域に出向いて、居場所づくりを中心とした予防的支援の活動を実践しながら、そのより良い方法について研究しています。



本山 智敬 教授

専門分野

「臨床心理学」
「パーソンセンタード・アプローチ(PCA)」
「エンカウンター・グループ」

ロジャーズのPCAを臨床の基礎とし、カウンセラーの傾聴の態度の育成、またエンカウンター・グループを中心としたグループ・アプローチを学校現場や組織の人間関係づくりに生かすための実践と研究を行っています。



山岸 賢一郎 教授

専門分野

「教育学」
「教育哲学」
「道徳教育学」

教育や道徳教育について哲学しています。例えば、道徳教育が有意義かつ道徳的であるための条件について考えたり、道徳科の授業をより良いものにするための方法について考えたりしています。



吉岡 久美子 教授
(村上 久美子)

専門分野

「メンタルヘルスリテラシー」
「福祉心理学」
「教育・学校心理学」

“生涯にわたる心の健康”について、QOL(Quality of life)を基軸に研究を進めています。特に、児童・思春期の支援に関する国際比較研究と高齢期の支援に関する研究(認知症、ケアラーのケア、チームアプローチ)への関心が高いです。

教育・臨床心理学科Q&A

Q1 トラック制についてもう少し教えてください。

A1 24ページのイメージにあるように、本学科のトラック制は自分の将来のキャリアを意識して選択し、そのトラックの授業を中心しつつ、他のトラックの授業も履修できる仕組みです。実習科目はそのトラックに所属している学生しか履修できませんが、それ以外は大きな制限はありません。トラック選択は、1年次の終わりに行います。例え入学時にはまだ自分

のキャリアについて漠然としか考えられていなくても、トラック選択までに、「キャリア形成基礎論」という授業で、各トラックについて学んだり、自分の将来のキャリアについてしっかり考えたりする機会を設けています。なお、特定のトラックに希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

Q2 教育学と臨床心理学の両方を学ぶことの良さって何?

A2 本学科の学びの基礎は、教育学と臨床心理学によって作られます。中には、「教育学だけ学びたい」「心理学だけ学びたい」という人もいられるでしょう。ですが、この2つを学ぶことは将来に大きな可能性を開くこととなります。先輩の声を聞いてみましょう。

先輩Aさん
(スクールカウンセラー)

心理職として働くには、「心理学のことだけ知っていればいいというわけではない」ということを教育学の授業を通して気付かされました。子どもを取り巻く学校や社会の抱える課題について理解を深めたことは、子どもと向き合うためにも必須だと思います。

先輩Bさん
(民間企業)

私はチームで仕事にあたることが多く、教育学の授業で体験したグループでの調査や集団と個の心理についての学びは、チームの雰囲気をつくったり、チームを引っ張っていったりするとき、とても役に立っています。

先輩Cさん
(小学校教諭)

教育学の学びはもちろんですが、臨床心理学の授業を通して学んだ「カウンセリングマインド」や「傾聴のスキル」は、自分が子どもに向き合う姿勢の基礎となっています。そのため、落ち着いて子どもや保護者と向き合うことができている。

どうでしょう? 教育学と臨床心理学の両方を学ぶ良さ、少しは感じられるでしょうか。

Q3 3つのトラックに分かれる中で、教育学と臨床心理学の両方を具体的にはどのように学びますか?

A3 トラック制のメリットは、トラックを越えて授業を取ることができる点です。それを生かして、時間割を作ります。

Aさん 公認心理師トラック 3年次生

公認心理師の資格を取ってスクールカウンセラーとして働きたいから、学校教員トラックの授業もたくさん取っています。

時間割[前期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	心理学実験				
2		関係行政論	心理学的支援法		グローバル化と教育
3	多様性の教育学	社会・集団・家族心理学			教育福祉論
4				専門演習I	
5		法と子どもの権利	精神疾患とその治療		

Bさん 学校教員トラック 3年次生

学校現場を知り、実践力のある教員になりたい。キャリア教育にも関心があります。

時間割[前期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	カリキュラム実践論	人文地理学A	教育デザイン実習		グローバル化と教育
3	生徒指導論	教育方法とICTの活用			
4		専門演習I	社会科教育法I	キャリア教育論	
5			教育相談	学習・言語心理学	自然地理学A

Cさん キャリアデザイントラック 3年次生

地域で人を支える仕事ができるようになりたいから、生涯学習について学んでいます。

時間割[後期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2				学習方法開発論	産業・組織心理学
3	障害者・障害児心理学	キャリアカウンセリング	教育福祉論	教育社会学	
4		社会教育学	生涯学習概論B	専門演習II	国際化と日本
5			社会教育演習B		

Dさん キャリアデザイントラック 2年次生

インターンシップ実習で企業のことを知って、将来は人材育成の仕事に就きたいです。

時間割[後期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯スポーツ論	中国語IIA	キャリアデザイン実習		
2	教育の原理・課程論	インターメディアティブ・イングリッシュII		インターメディアティブ・イングリッシュIII	生涯学習概論B
3	社会学B	キャリア形成基礎論II		経済学B	産業・組織心理学
4		社会教育学		教育福祉論	中国語IIB
5					教育・学校心理学

■各トラック専門科目: 公認心理師トラック系科目 | キャリアデザイントラック系科目 | 学校教員トラック系科目 ※授業の開講時期はイメージです。年次によって開講時期や時間割は変わる可能性があります。

英語学科

Department of English



高度な英語力で、もっと広い世界へ。

国際的な視野と異文化への理解力を備え、グローバル社会で活躍する。

英語学科では、「文化・文学」「英語・英語教育」「グローバル・コミュニケーション」の三つの領域を総合的に学び、広い教養と深い専門知識を身に付け、グローバル社会に貢献できる人材となることを目指します。そのため、国際社会に積極的に参加することができる英語運用力を養い、TOEIC®やIELTS等の資格試験で高いスコアを取得することも目標とします。さらに、「グローバル・キャリア科目群」を通して、自分の将来のキャリアについて主体的に考えます。

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を身につけており、さらに英語や関連分野の学習を深めてゆくの十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** 広い教養と深い専門知識を身に付けるための学びに主体的に取り組み、将来国際社会、地域社会に貢献したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツをはじめとする課外活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



英語学科での4年間

1年次 基礎教育

基礎作り

「基礎演習」や「英語音声実習」さらにはOral CommunicationやIntegrated Englishといった科目で英語の知識や技能およびアカデミックスキルを学びます。また、「入門」で三つの科目群の基礎を体系的に学びます。

2 / 3 / 4年次 専門教育・論文・就職

専門分野にゆるやかにシフトし、 選択した分野を能動的に探究

三つの科目群(英語圏の文化や文学について学ぶ「文化・文学科目群」、英語の仕組みや意味、機能、外国語としての英語学習や英語教育について学ぶ「英語・英語教育科目群」、グローバル社会における諸課題やコミュニケーションについて学ぶ「グローバル・コミュニケーション科目群」)の科目から学び、より専門的な学びにシフトしていきます。また、「グローバル・キャリア科目群」の科目を通して、卒業後のキャリアアップ形成やさらなる英語運用力を養います。

3年次からは演習(ゼミと呼ばれる少人数制クラス)を履修し、専門性を高めていきます。

卒業後

グローバル化が
さらに進む
次代の社会で
真の国際人として
活躍

What's SIE? [Study In Englishプログラム]

2年次以上の一部の授業において、英語運用力の高い学生のみを選抜した少人数クラスを作り、そこで、原則として英語のみを使用するハイレベルな授業を行います。



専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 日本語教員

在学生の声

少人数制で磨く実践英語。
積み重ねた練習が海外で“伝わる英語”になった。



2年次生 竹下 真由 さん

(福岡県 小倉高校出身)

Q1 この学科の魅力は?

語学力だけでなく、文法や英語の成り立ちなどを幅広く学べる点です。本学科にはネイティブの先生が多く、自分のレベルに合った少人数制のクラスでスピーキングが練習できます。英語で発表を行う授業を通して、人前で話すことに慣れ、実践的な英語力が磨かれました。実際に海外研修の中で、英文法の授業で学んだフレーズを会話に生かすことができました。

Q2 好きな授業は?

「英語学の諸相」です。単なる暗記ではなく、単語の核となる意味から派生を理解する学びが面白く感じます。先生が自身のエピソードを交えて文法や英語表現のポイントを教えてくださいるので、実際の場面でどう使うのかをイメージできます。日常とひもづけて捉えることで、意味の広がりや使い方などに新たな発見があり、英語を身近に感じるようになりました。

私の時間割(2年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00		朝鮮語ⅡA	英語史A	英語読解ⅠA	英語音声学AB
10:40		英語学の諸相ⅠA	スピーチコミュニケーションⅠA	芸術A	インターメディアイトイグリッシュⅠ
13:00		英会話ⅡA	英語ライティングA	メディアと英語文学A	数学入門
14:40		インターメディアイトイグリッシュⅢ			朝鮮語ⅡB
16:20					

卒業生の声

語学だけではない幅広い学びによって
英語を生かす未来が拓けた。

本学科の魅力は、実践力が培える授業が豊富などです。ネイティブの先生による授業や、英語で行われる少人数形式の授業の他、海外研修や留学制度も充実しています。英語圏の文化・文学、コミュニケーション等が学べる科目も多く、英語に携わるために必要な異文化理解を深めることができます。私は夏休みに参加した短期留学で、現地の保育園やベビーシッターの仕事を経験したことがきっかけとなり、「英語を使って保育に関わりたい」と思うようになりました。

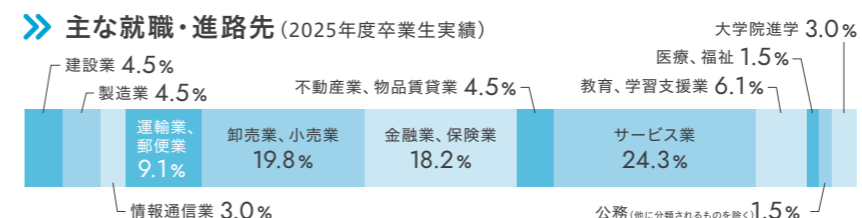
卒業後、インターナショナルスクールで保育士として働き、現在はベビーシッターとして、英語の歌や絵本などを取り入れながら子どもたちの学びをサポートしています。ゼミでのディスカッションを通じて培った「他者の考えを受け止め、自分の意見を伝える力」や柔軟な対応力は、大切なお子さまを託して下さるクライアントと信頼関係を築く上で、大切なスキルとなっています。



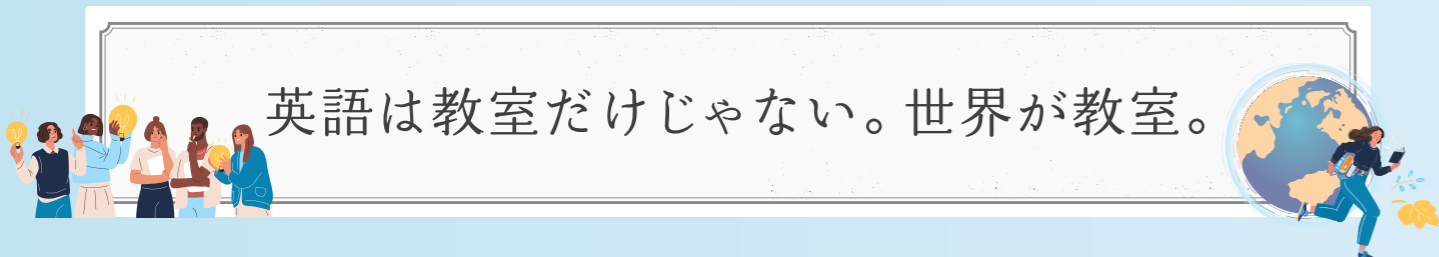
倉成 桃子 さん (2020年卒業)

株式会社ジョイイクリエイト

主な就職・進路先 (2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)



海外で活躍する学生

イギリス・リーズ大学交換留学

小柳 諒馬さん (2023年度入学)

私は現在、交換留学生としてイギリスのリーズ大学で1年間学んでいます。リーズがあるヨークシャーは、大学と地域の人々との距離がとて近く、学生が「街の一員」として自然に溶け込めるのが特徴です。例えば“Otley Run”という、仮装をして15軒ほどのパブを巡るイベントでは、学生も地元の人と一緒に盛り上がりがあります。ビール好きの私にとってはまさに天国です。この地域は雨天の日が多く傘が必須ですが、盗まれてからはあまり使わなくなりました(笑)。授業や生活で英語に大きく困ることはなく、高校時代に寮生活をしてきたこともあり、環境の変化も楽しめています。ただ、現地学生の英語は学校で学んできたものとはかなり違い、最初は苦労しました。交換留学は毎日が特別というより、現地の学生として自然に暮らす経験ができます。観光では気付けないその土地の魅力を知ることができるのが、留学の一番の価値だと思います。お金や英語への不安は誰でもありますが、「行く」と決めてしまえば方法は見つかります。少し勇気を出して一歩踏み出すことで、今まで見えなかった景色にきっと出会えるはずです。



部活での国際試合

渡真利 峻さん (2024年度入学)

私は、英語の教員になるという目標を実現させるために学業に励みながら、バレーボール部にも所属し、日々の部活動と学業の両立に取り組んでいます。大学の部活動では、ここでしかないようなさまざまな経験をするのができ、貴重な将来の糧となっています。特に印象に残っているのは、海外のチームと交流試合を行ったことです。大学1年次生の2月には中国へ行き、中国・韓国の大学を含めた4チームで交流試合を行いました。また、大学2年次生の7月にはニュージーランドのU-20代表チームを本学に招き、2日間にわたって交流を行いました。一緒にバレーボールをするだけでなく、食事を共にする中で、海外の選手と直接交流することができました。その際に、英語でコミュニケーションをとることで、国や文化が異なる相手とも通じ合える楽しさや英語の大切さを強く実感しました。本学には、勉強も部活動も本気で取り組みながら、国際的な経験ができる魅力的な環境があります。皆さんもぜひ、本学で充実した4年間を過ごしてみませんか。



授業外で活躍する学生

パブリックスピーチの達人集団・福田ゼミ

全国から選ばれた10組のみが出場できる2025年の英語ペア・プレゼンテーションコンテストにおいて、福田ゼミの学生が出場し、2位という成果を収めました。本ゼミでは、英語による発信力や協働力を重視し、プレゼンテーション大会や海外ゼミ旅行など多様な活動を行っています。仲間と切磋琢磨しながら、協力し合い、楽しく充実したキャンパスライフを送っています。



目指せ★フェアトレード大学

福岡県初のフェアトレード大学の認定を受けることを目指した活動を、英語学科の学生たちがしています。キャンパス内でフェアトレードカフェを開催したり、フェアトレード商品と福岡県産品を使った地元企業とのコラボ商品を開発したりといった、フェアトレードの認知度を向上させる活動を行っています。フェアトレードを通して、「人と人のつながり」の大切さを本学から発信することを目指しています。



英語圏文化研修

University of Calgary

カナダのカルガリー大学での語学研修を、英語学科の選択科目「英語圏文化研修AB」(計4単位)として履修することができます。夏期休暇中の4週間、英語運用能力を高めながら、異文化を体験してみませんか。専任教員が引率するので、海外生活が初めてでも安心して参加できます。

#事前学習で準備、#事後学習で語学力維持、
#引率あり、#ホームステイ、#週末アクティビティ

Summer Homestay Adventure in Canada

English Department students, who sign up for this program, will spend four weeks in August studying English at the University of Calgary. You will make friends with a number of international students on campus and learn many things about Canadian culture as well. Your English skills will certainly improve and you will have wonderful experiences being in a homestay and enjoying the natural beauty of the Canadian Rockies. Some activities you will take part in include, for example, hiking, camping, horseback riding, and white water rafting. Your summer in Canada will be an adventure you will never forget. (Larry Kimber)



参加者のメッセージ



岡山 菜奈 (2024年度入学)

1カ月の海外留学は、私の人生において非常に価値のある経験になりました。海外初挑戦、かつ国籍の違う家族との生活という未知の世界に、出発前は緊張と不安でいっぱいでした。最初は言葉が通じず、日本との環境の違いに戸惑うこともありましたが、ホストファミリーとの会話や日々の暮らしを重ねる中で、次第に「伝わる喜び」を実感。気が付けば毎日が新鮮な驚きと充実で満ちていました。カルガリーの大自然に包まれながら過ごしたかけがえのない時間は、私の大きな自信となりました。

園田 陽菜 (2024年度入学)

初めての留学でしたが、最後には「帰りたくない!」と思うほど濃密な1カ月になりました。カルガリー大学には世界中から学生が集まっており、多様な国籍の友人と英語で語り合った日々は、異文化交流そのものでした。週末のアクティビティやツアーでは、カナダならではの文化や雄大な自然を肌で感じる事ができ、毎日が刺激にあふれていました。この経験を通して、英語学習への意欲はもちろん、物事の捉え方や考え方も大きく広がったと感じています。日本では味わえない幸せな出会いに満ちた、最高の経験になりました。



教員・研究の紹介

■英語学

古賀 恵介 教授 専門分野 / 英語学
英語の文法・語法の背後にある意味の構造を、認知言語学という分野の理論を用いて分析しています。

白谷 敦彦 教授 専門分野 / 英語学(語法研究)
英語を学習していきながら抱く疑問を解決すべく研究しています。例えば、朝・昼・夕はin the morning, in the afternoon, in the eveningなのに夜だけat nightなのはなぜか、「コンピュータで」はon/in/by/with a computerの4つがあるが、その使い分けはどうなっているのか、などです。

竹安 大 教授 専門分野 / 英語学(音声学・音韻論)
主に実験音声学・実験音韻論の観点から、英語と日本語の音声知覚・産出に関する分析を行っています。

長 加奈子 教授 専門分野 / 英語学
英語の文法や語彙の意味、日本人英語学習者の英語の特徴をコーパスを用いて分析しています。

ステーブン・ハウ 教授 専門分野 / 英語学(History of English)
I am currently working on primary universals of human language, which means the essential characteristics that all human languages share. I am also interested in how we communicate 'yes' and 'no'.

毛利 史生 教授 専門分野 / 英語学(意味論)
英語の研究を日本語やロマンス系言語に照らし合わせながらやっています。特に生成文法という理論に基づいて、形式と意味の関係を明らかにしようと奮闘しています。

高木 留美 講師 専門分野 / 英語学(統語論)
生成文法に基づく統語論(文の仕組みの研究)を専門としています。特に、さまざまな言語で見られる「言わないのに、意味は分かる」省略現象を手がかりに、省略が可能になる条件を探っています。

森竹 希望 講師 専門分野 / 英語学(統語論)
英語や他のさまざまな言語に見られる事実を、生成文法の観点から説明しようと研究に取り組んでいます。特に、一致現象と名詞句に具現化する格、パラメーターに興味関心があります。

■イギリス文化・文学

園田 暁子 教授 専門分野 / イギリス文化・文学
イギリス・ロマン派を中心とする、18世紀～19世紀のイギリス文学を対象とし、著作権の成立・発展を思想史、文学史の中で捉えなおすことを目指して研究しています。

鶴田 学 教授 専門分野 / イギリス文化・文学
シェイクスピアを中心とした英国演劇について研究しています。

福原 俊平 教授 専門分野 / イギリス文化・文学
イギリスの19世紀小説と現代小説を研究しています。「共感」を中心的なテーマとしています。

渡部 智也 教授 専門分野 / イギリス文化・文学
19世紀イギリスの小説家、チャールズ・ディケンズの小説を中心に研究しています。現在は、作品に描かれる「脱り」の描写の役割とその意味の解明を研究テーマとしています。

岩崎 雅之 准教授 専門分野 / イギリス文化・文学
20世紀のイギリス小説(E. M. フォスター、ヴァージニア・ウルフ、カズオ・イシグロなど)について研究しています。また、小説を題材にした映画も研究対象としています。

棚町 温 講師 専門分野 / イギリス文化・文学
イギリスの初期近代演劇(ウィリアム・シェイクスピアなど)と現代演劇(キャリル・チャーチルなど)について研究しています。

中越 亜理紗 講師 専門分野 / イギリス文化・文学
19世紀の英文学における日本と中国の表象を研究しています。特に、イザベラ・バードやアリシア・リトルなど、女性たちによる旅行記に描かれた異文化交流をテーマとしています。

船田 佐央子 講師 専門分野 / イギリス文化・文学
19世紀イギリスの小説家ディケンズの文体について研究しています。主にメタファー(隠喩)やシミリー(直喩)など、作品の中に見られる比喩表現に着目し、認知言語学的観点からその仕組みを解明することをテーマとしています。

英語学科に所属している教員をご紹介します。
※2026年4月1日現在

■スピーチ・コミュニケーション

一瀬 陽子 教授 専門分野 / 第二言語習得
母語を獲得した後、第二言語を学ぶ際のメカニズムの解明について研究しています。

伊藤 益代 教授 専門分野 / 言語学、言語習得、統語論、スピーチ・コミュニケーション、語用論
子どもや大人がどのように意味論的、語用論的解釈をしているのか研究しています。面白い内容ですよ。

奥田 裕司 教授 専門分野 / 英語科教育法、学習環境デザイン、教材開発
英語学習者が学習を楽しい気持ちで持続的・自発的に進んでいくにはどうすれば良いのでしょうか。「英語学習の楽しさを引き出す学習環境デザイン」に焦点を当てた研究や学習システム・教材開発を進めています。

ラリー・キンパー 教授 専門分野 / TESOL, Computer Assisted Language Learning (CALL)
The Role of Computers for Teachers and Learners in Second Language Education: Theory and Practice

ティム・クロス 教授 専門分野 / Critical Media Literacy, Cultural Studies
Critical Media Literacy, Cultural Studies, The Politics of Local Identity and National Culture, 茶道南坊流、博多祇園山笠

福田 慎司 教授 専門分野 / 英語教育学
多くの日本人にとって外国語である英語をどのように学べば効果的に身に付けられるのか研究しています。

松尾 キャサリン 教授 専門分野 / Speech Communication
Intercultural Communication and Intercultural Communicative Competence Development, Dialogic Linguistics and Meta-Linguistics, Development of a Dialogic Pedagogy for Foreign Language Education, Dialogic Analysis of Classroom Discourse, Debate Education, Communication as Persuasion, Democracies, Ethics and Rhetoric

ジェシー・スー 准教授 専門分野 / Sustainability in Everyday Life
I am interested in how urban culture changes through communication, in all its forms. My research focuses especially on 'sustainability in everyday life' happening within cities.

上原 遼 講師 専門分野 / 英語教育学・異文化理解
外国語で数学や理科を学ぶ「イマージョン教育」において、学習者が直面する文法習得の課題とその要因について研究しています。近年は、この教育実践を事例として、「異文化理解教育」の在り方についても検討を進めています。

■アメリカ文化・文学

秋好 礼子 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
現在は、19世紀中・後期アメリカ文学における身体的差異表象に焦点を当てています。また、単行本として出版された小説だけでなく、当時の新聞や雑誌にも目を向けています。

大島 由起子 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
アメリカ文学(メルヴィル、北米先住民)について研究しています。

坂井 隆 教授 専門分野 / アメリカ文学、特に演劇分野
主な研究対象はアメリカの近現代演劇で、特に今は、アメリカを代表する劇作家テネシー・ウィリアムズに興味を持っています。また、舞台芸術自体の限界と可能性、つまり、舞台上で表現できるものをどこまで拡張できるのか、といった美学的な問題にも関心を持っています。

高橋 美知子 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
スコット・フィッツジェラルドなどの20世紀のアメリカ小説を中心に研究をしています。最近では作品の中に隠れている弱者の声の発掘や、小説の成立と出版業界のかかわりなどに興味を持っています。

ジェファソン・ピーターズ 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
Children's Literature, Fantasy, Popular Culture, and Comparative Literature and Culture

樋渡 真理子 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
アメリカ文学全般、特に南部文学とウィリアム・フォークナーという作家を研究しています。トランスナショナル文学、移民文学、アジア系文学にも関心を持っています。


光富 省吾 教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
アーネスト・ヘミングウェイ研究、ジャック・ケルアックを中心とするビート・ジェネレーション研究、アメリカ映画を題材にした文化の研究をしています。

銅堂 恵美子 准教授 専門分野 / アメリカ文化・文学
ウィリアム・フォークナーやトニ・モリスンを中心に、人種やジェンダーの問題に興味を持って研究しています。

卒業生 Interview

イキイキと英語を使い、グングンと未来を拓く

福岡大学にはキャリアセンターという就職支援の部署があり、そこに福岡大学専任事務職員として就職した英語学科の卒業生、小松 真子さん(2023年度卒業生)が勤務しています。
英語学科卒業生として、そして学生支援のプロとして、インタビューで率直な意見を聞きました!



Part1 なぜ英語学科?

Q なぜ英語学科を選んだのですか?

A 高校生の時、修学旅行で始めて海外に行き、拙い英語でも相手に思いが伝わり価値観が変化したという体験があり、「英語というツールを通じて世界の人とつながる」という楽しさを味わいました。その体験から、より多く、そして深く英語を使える環境に身を置きたいと考えるようになりました。

Q 「英語が好き」以外に英語学科を選んでよかったと思う点はありますか?

A 人とのつながりが格段に増えた点です。英語学科では、国際交流に興味がある学生の他、留学経験者、外国籍の先生が多数いるため、自然と多様な価値観と人に出会える環境が整っています。

Q 授業以外で在学中に挑戦したことの中で一番思い出になっていることは何ですか?

A 大学3年生の夏にイギリスのショートステイに行ったことです。在学時はコロナ禍で、海外に行くことさえも難しい状況でしたが、学科の仲間がそれぞれ果敢に挑戦している姿に刺激を受け、自分自身で全て準備しショートステイを実現させました。自分で道を開きつかみ取った経験は、今でも大切な思い出です。



Part2 今の仕事は?

Q 就職活動の軸は何ですか?

A 「誰かの人生に良い影響を与えることができること」です。大学4年間は、価値観が変わり人生の選択肢が広がった時間でした。その中で、今度は私が学生に新しい世界を見せ、成長を後押ししたいと考えるようになりました。

Q 現在の仕事内容を教えてください。英語学科出身ということが直接・間接的に生きていると思うことはありますか?

A 添削や面接練習をはじめとした面談業務や、セミナーや企業説明会の企画運営を担当しています。英語学科で

培った語学力は英語面接や海外進路を希望する学生の支援に役立っています。また、多様な価値観に触れた経験から、学生一人一人に柔軟に向き合える姿勢も生かされています。



Part3 英語学科学生の強みは?

Q 英語学科の友人はどのような就職先に就職していますか?

A 英語学科の友人は、航空業界や教育業界など英語を生かす仕事の他、公務員、金融、ホテル業など多様な分野で活躍しています。英語学科は本当に幅広い進路を選べる学科だと感じます。

Q 英語学科学生は在学中にどんなことをしておくとか就職に役立つと思いますか?

A 「大変だけれど誇りを持てる経験」を在学中につくることだと思います。留学でも、アルバイトでも、部活動でも、自分で目標を立て挑戦しやり遂げた経験は、就職活動で必ず強みになります。

最後に英語学科を目指す高校生にメッセージをお願いします!

私は、英語学科に入学して考え方や価値観が大きく変わりました。言葉を学ぶことは、世界の見え方を変える体験でもあります。挑戦した分だけ、自分の可能性が広がります。迷っているなら、ぜひ飛び込んでみてください!

■英語学科の最新情報はどこで?

素早い学科情報の提供のため、Xアカウントを設置しています。タイムリーな情報を毎日更新しています。

人文学部英語学科 公式アカウント
https://x.com/Fukudai_LE



人文学部英語学科 公式ウェブサイト
<https://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/department/le>



ドイツ語学科

Department of German



ヨーロッパの真ん中へ！ 多様性を学ぶ「クロスカルチュラルコース」 思考と表現の力を鍛える「ドイツ語コミュニケーションコース」 ドイツ語をナビゲーターに、21世紀を歩いて行こう。

初歩から学ぶドイツ語と、幅広い運用能力を培う英語。留学生と多言語で学ぶ、日本と欧州文化。確かな語学力と、多様な価値観の理解に裏打ちされた、他者との交渉に堪える力を身に付け、ドイツ系企業やドイツの日本企業で活躍しましょう。大学院に進学することで、語学力と問題解決能力にさらに磨きがかかります。

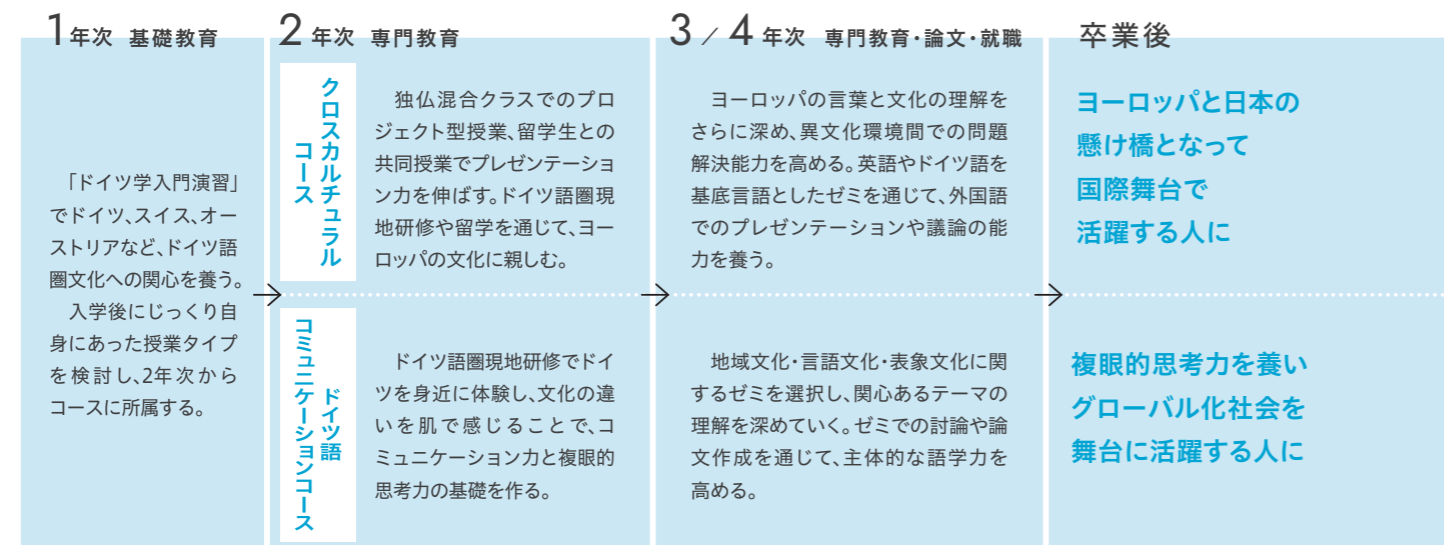
求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学習し、ドイツ語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** ドイツ文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



ドイツ語学科での4年間



※カリキュラム改正等により、変更の可能性があります。

専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許(ドイツ語)
- 日本語教員

在学生の声



2年次生 藤野 真苺子 さん
(福岡県 筑業高校出身)

ネイティブの先生に一から教わるドイツ語。授業で実践を重ね、対話力が磨かれた。

Q1 この学科の魅力は？

ドイツ語の基礎やヨーロッパの文化・歴史の背景を学べます。特に1年次から少人数制でネイティブの先生とドイツ語のみで行う授業が魅力です。日常会話の練習やロールプレイなど、学んだ知識をアウトプットする機会が多く、実践的な表現力が身に付きます。現地研修では、授業で習得した会話表現を使って現地の方々と意思疎通ができ、自信につながりました。

Q2 好きな授業は？

グリム童話などのドイツ文学を読み解く「ドイツ語基礎演習」です。文の前後のつながりや関係を捉えながら和訳を繰り返すうちに、物語の背景や人物の心情を理解できるようになり、面白さを感じました。読解力を鍛えたことが、ドイツ語技能検定試験の合格につながりました。努力を重ね、学びの成果を実感できたことで、学習意欲がさらに高まっています。

私の時間割(1年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00		ゲルマニスティク入門A	地球圏科学入門	日本史A	
10:40		社会学A	生涯スポーツ演習II	ドイツ語IA	コンピュータ入門I
13:00		フレッシュマン・イングリッシュI	統計入門	ドイツ語基礎会話A	
14:40	ドイツ語IA				ドイツ語基礎演習A
16:20	哲学A				フレッシュマン・イングリッシュIII

卒業生の声

学科で培った文化理解と尊重の姿勢が、ビール醸造の根幹となった。

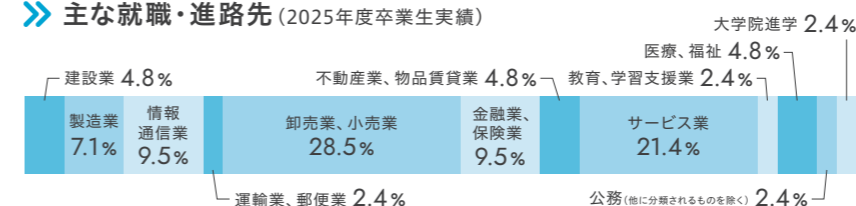
本学科のネイティブ教員数は日本トップクラスで、確かな語学力だけでなく、文化・歴史も身に付く環境で学ぶことができます。「ドイツ語現地研修」(短期留学)では言語にとどまらず、多様な価値観への理解が大きく進みました。特にドイツの歴史や伝統と深く結びついたビール文化に衝撃を受け、自分で多彩なビールを造りたいと考えようになりました。

現在はブルワー(醸造士)として仕込みから発酵管理、出荷まで幅広く携わっています。弊社の商品は、世界的な品評会での金賞受賞など高く評価されており、その結果に貢献できていることにやりがいを感じます。ビールの醸造に必要な科学的知識や工程ごとの正確な手順に加え、「文化を理解し尊重する姿勢」はこの仕事に欠かせない重要な価値観の一つです。学科で培った言語力や文化理解力、ゼミや研究活動で鍛えられた探究心や論理的思考力は、醸造技術の向上や新商品の開発に活かされています。



岡本 薫 さん (2020年卒業)
横浜ベイブルーイング株式会社

主な就職・進路先(2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

学びの流れ

1年次生 学びのはじまり

「ドイツ語IA, IB」でドイツ語の基礎を身に付けます。「ドイツ学入門演習」でドイツ、ヨーロッパについて広く学びましょう。4年間、ドイツ語圏および、ヨーロッパについて段階的かつ専門的に研究するための第一歩です。

2・3年次生 現地研修と留学へ

2年次から「クロスカルチュラルコース」と「ドイツ語コミュニケーションコース」に分かれます。「ドイツ語会話基礎」、「異文化コミュニケーション基礎」から「ドイツ語で読む」、「異文化環境間プレゼンテーション」までの授業でドイツ語応用力を獲得し、「演習I」、「エリアリサーチ」、「メディアリサーチ」で専門的知識を習得しながら、考える力とまとめる力を伸ばします。「現地研修」(短期留学)でドイツ・ヨーロッパを体感することも、半年か1年間の交換留学をすることも可能です。

✦ 留学について

短期留学

費用	60万円程度(授業料とは別に負担)
場所	イェナ大学(16世紀創設の伝統校)、ホテル滞在
期間	8月の30日間(授業約3週間、研修旅行4~5日)
事前学習	出発までに、渡航とドイツ滞在に必要な基礎知識を習得します。
現地サポート	ドイツ語学科専任教員が引率。ただし、週末は自由行動のため、旅行に出た学生等には電話等で対応。

交換留学

協定校	①フリードリヒ・シラー大学(イェナ大学) ②デュースブルク・エッセン大学
期間	1学期(半年)または2学期(1年)
派遣定員	各大学5人(計10人/1年)
出発	秋(10月)または春(4月)
出願資格	成績等に関する制限あり
その他	大学からの渡航費補助あり

〔留学実績〕 2022年:8人(15 23)
2023年:14人(17 27)
2024年:6人(11 25)
2025年:4人(12 22)

ドイツ語で発表！



ゲートとシラーの像



サッカー観戦も



ヴァルトブルク城



「フリードリヒ・シラー大学イェナ」交換留学体験記

野瀬 明莉 さん (2023年入学)



私は2025年3月末から2026年2月末までの11か月間、ドイツのイェナ大学に交換留学をしました。留学を決めた理由は、ドイツで生活しながら日常的にドイツ語に触れ、語学力を向上させたいと考えたからです。慣れない環境での授業は想像以上に難しく、当初は戸惑いの連続でした。しかし、授業を通して出会った友人たちと寮に集まり、お互いの国の料理を作ったり、期末試験に向けて助け合いながら勉強したりする中で、語学だけでなく、自ら行動する姿勢や多様な背景を持つ人々と協力する力を身に付けることができました。これらの経験は私にとってかけがえのない思い出です。このドイツでの体験を、今後の学びや将来に生かしていきたいと考えています。

3・4年次生 ゼミで専門性を高めよう

富重ゼミ

読む、考える、批評する
隈 美通 さん (2023年入学)



富重ゼミでは、ドイツに関わる作品を題材に、詩の翻訳と批評、映画についてのレポート、本の要約をもとにしたレジュメ作成と発表など、幅広い活動を行っています。作品を読むだけでなく、時代背景や表現の工夫を考え、自分の言葉で分かりやすく伝える力を身に付けられるのが特徴です。私はドイツの文学と演劇に興味があり、文章表現と舞台表現の違いや共通点に注目して学んでいます。今後はドイツ語の読解力をさらに高め、ゼミでの議論を重ねる中で多様な視点を身に付けながら、プレヒトやビューヒナーといった作家の作品を中心に、文学作品が舞台化・上演される過程に注目して研究を進めたいと考えています。

永田ゼミ

コミックで学ぶ
ドイツ語
上野 裕峰 さん (2023年入学)



永田先生のゼミでは、ヨーロッパで人気のアステリックスシリーズのコミックを精読します。授業ではドイツ語原文から日本語に翻訳したり、コミックの中で使われている文法事項などをパワーポイントで発表したりします。アステリックスシリーズの舞台は古代ローマ時代のガリアで、誰もが一度は耳にしたことがあるであろうユリウス・カエサルがアステリックスの敵として登場します。永田ゼミでは、ドイツ語を活用するだけでなく、世界史の知識を深め、プレゼンテーション技術を身に付けることができます。海外のコミックを読みたい、またはドイツ語をもっと深く学びたい人におすすめのゼミです。

堺ゼミ

ドイツ文法をふりかえる
松尾 百華 さん、山口 咲良 さん (2023年入学)

私たちは、稀代のドイツ語学者の文法書、関口存男『関口・新ドイツ語の基礎』を用いて、1年間かけてドイツ語の文法を基礎から学び直してきました。例文の読解や英語との比較を通してドイツ語への理解を深めながら、これまでのドイツ語学習で頭いていた特異な文法箇所を先生の丁寧な解説を通して総ざらいすることができました。これと同時に卒業論文に向けたテーマ選びから研究報告に至るまで、ドイツのさまざまな事象に関して知見を広げてきました。月に一度開催のランチゼミでは、研究報告に加えて、関心のある事柄や今後の進路などについての意見交換をメンバー達と行うことができ、親睦も深めながらとても有意義な時間を過ごしています。



ライヒャルトゼミ

ライヒャルトゼミ
松永 凜 さん (2023年入学)

ライヒャルトゼミでは、言語、映画やドラマ、広告などを「記号」として捉え、それらがどのように意味を生み出しているのかを研究しています。私たちが普段当たり前のように使っている「言葉」や「表現」が、文化や歴史の中でどのように成り立っているのかを、記号論の視点から学びます。授業では、古い時代の絵画や現代のメディア表現まで幅広い題材を扱い、文章を読むだけでなく、文化全体を読み解く力もつけることができます。難しく感じられる理論も、具体例を交えながらライヒャルト先生が丁寧に解説してくださるため、理解を深めながら学ぶことができます。ゼミでは、学生同士で意見交換を行う機会が多く、自分の考えを言葉にする力が身に付きます。さまざまな視点から物事を考えたい人にとっておすすめのゼミです。



4年間の集大成 卒業論文と卒業研究

片岡ゼミ

マンガを用いた日独語オノマトペ比較
古賀 優希菜 さん (2022年入学)

私の卒業研究のテーマは『美少女戦士セーラームーン』のドイツ語訳を用いた日独語オノマトペ比較です。ドイツ語のオノマトペは日本語に比べて非常に少なく、原作で用いられているオノマトペをドイツ語訳でどのように再現しているのだろうと疑問に思ったのが、このテーマを選んだ理由です。調べてみると、音や声を表す擬音語はドイツ語訳でオノマトペを用いて再現されている一方で、様子などを表す擬態語は多くが別の表現に置き換えられていました。また、新しい単語を作って日本語のオノマトペを再現している例もありました。今回の調査結果から日独語のオノマトペの違いがわかり、興味がより深まったので、これからも研究を続けたいと思っています。



有馬ゼミ

マルクス『資本論』と現代日本
武田 明浩 さん (2022年入学)

私は卒業論文でカール・マルクスの『資本論』を研究対象に選びました。それは、大量消費社会の中で、働くこと自体が自己目的化しているといえる現代の日本において、改めて労働や社会のあり方について批判的に考えたかったからです。マルクスによると、資本主義社会では人間の本质が労働にあるとみなされ、労働力が商品化することで、人間が人間らしさを喪失しているのだといいます。そのような「自己疎外」というマルクスの考え方は、資本家批判というよりも社会構造批判であると理解しました。近年では社会のデジタル化が進み、労働量減少が期待されていますが、それが実現しているのかは疑問です。そのような現代日本の状況にも役立つ何かがある、『資本論』にはあるはずだと感じています。

卒業後のさまざまな未来 君たちの羽ばたく先は

ドイツ鉄道ICE 1等車両乗務員として勤務中!

松浦 亜紗子 さん (2011年3月卒業、ドイツ在住)

「英語以外の語学を勉強してみたい」という動機で入学したドイツ語学科では、語学だけでなく文化や歴史を学び、今まで知らなかった世界を知ることができました。特に2年次に参加した現地研修は、短期間ではあったものの、私にとって大きな刺激となりました。その際に初めてドイツを鉄道で旅行をし、鉄道旅行に魅力を感じたことから、ゼミ論では【鉄道】をテーマに日独比較をしました。

大学卒業後、ヨーロッパ旅行を専門とする旅行会社に就職し、その間にドイツ支店へ1年出向の機会を得ました。その後、再度ドイツ語をしっかりと学びなおすために語学留学し、現在はドイツ鉄道(Deutsche Bahn)に転職して、高速列車ICEの1等車両の乗務員として勤務しています。学生時代から好きだったドイツ鉄道旅行に職員として携わることができていることにとってもやりがいを感じていますし、何よりドイツ語学科での学びや経験が今につながっていると実感しています。



ドイツと日本を結ぶ貿易商社を経営

篠原 友美 さん (2001年3月卒業、株式会社ブルックスジャパン代表取締役)

入学前は「何か海外と関わる仕事がしたい」という漠然とした夢を持っていただけでしたが、在学中にドイツ語やドイツ文学だけでなく、ドイツの歴史・文化・習慣等を学ぶことができたこと、夏期ドイツ現地研修(当時はハンブルク大学)を経験させていただいたことがその後の人生で大いに役立つことになりました。

卒業後、ヨーロッパやアジア諸国の製品を輸入する仕事に就き、2007年に輸出入取引を中心とする商社を設立しました。

現在取引国は世界30カ国以上に渡りますが、主軸となっているビジネスはドイツの工業用機械を輸入し、日本の産業へ卸売する事業で、売上の約半分を占めています。在学中に学んだことがドイツとのコミュニケーションを円滑にし、ビジネスの成功に導いてくれています。



多言語環境で国際貿易

重松 あや さん (2017年3月卒業、西日本鉄道(株) 国際物流事業本部)

私は現在、国際貿易の仕事をしています。業務内容は、貨物を航空便・海上便のどちらで輸送するかを提案したり、海外駐在事務所の設立に携わったりと、多岐に渡っています。そうした業務のなかで共通しているのは、毎日外国語を用いている点です。

外国語を活かせる職業に就きたいと考えていたこと、また、もともとヨーロッパに興味があり、ヨーロッパで中心言語として話されているドイツ語を学びたいと思ったことから、西日本の私立大学で唯一、専門の学科でドイツ語を学べる福岡大学に進学しました。大学3年次には、ドイツへ半年間の短期留学を果たし、憧れだったドイツでの生活を存分に満喫しつつ勉学に励みました。この経験を通し、価値観や知見が広がったのはもちろん、やはり語学力を向上させることができました。日々の業務でもその経験を活かしたことで、2023年4月から3年間、タイのバンコクで駐在員として働く機会を得ました。ドイツ語圏ではありませんが、異文化理解力を評価してもらえた結果だと思います。今後は現地スタッフと協力し、より多くのお客様に西鉄の輸送サービスを使ってもらえるよう邁進したいと思っています。



英語の先生になった先輩も

ドイツ語学科では「ドイツ語」に加えて「英語」の教員免許状(中学校・高等学校教諭一種)を取得することができます。そのためには成績が一定の基準を満たす必要があります。教職課程の勉強をしながら二つの外国語を本格的に学ぶには相当の努力が必要です。しかし、チャレンジする価値は大いにあります。ドイツ語と英語は近い関係にある兄弟のような言語で、よく似ているけれどさまざまな違いも見られます。そこからは、時代とともに移り変わる言語の姿が見て取れます。ドイツ語を学ぶことで、英語の姿がくっきりと見えてくるのです。ドイツ語学科の先輩の中には卒業後に大学院に進み、ドイツ語をより深く研究しながら英語の先生になった人もいます。ことばの面白さを生徒たちに伝える仕事に就く一ドイツ語学科での学びは、その出発点になるのです。



教員・研究の紹介

※2026年4月1日現在



マーレン・ゴツィック 教授

専門分野
「比較文化(日独)」
「日本学」「社会学」
「芸術学」
ドイツと日本を比較しながら現代社会や芸術の研究をしています。



堺 雅志 教授

専門分野
「ドイツ・オーストリア文学」
ドイツ文学の中でも特に世紀末ウィーンを中心とするオーストリア文学が専門。ドイツ語圏の映画、スポーツ、衣食住についても興味を持っています。



富重 純子 教授

専門分野
「ドイツ文学、とくにユダヤ系ドイツ文学、東欧のドイツ語文学」
ハイネのようにユダヤの出身を持ち、ドイツ語で書いた作家、東欧にも広がっていたハブスブルク帝国出身の作家たちなどの研究をしています。ヨーロッパの映画も、研究テーマの一つです。



永田 善久 教授

専門分野
「ドイツ文学」
ヤーコプ・グリム(グリム兄弟の兄)の思想を研究しています。テキストマイニングの技術を語学文学研究に応用することも試んでいます。



森澤 万里子 教授

専門分野
「ドイツ語学」
「歴史社会言語学」
場面や相手に応じたことばの使い分けによって人とはどのように人間関係を築こうとするのか、その分析をテーマの一つとしています。



片岡 宜行 准教授

専門分野
「ドイツ語学」
ドイツ語の文はどんな仕組みになっているのか、文の形と意味はどう関わっているのかを研究しています。外国語学習法の研究・開発にも関心があります。



平松 智久 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「ドイツ語教授法」
18~19世紀に活躍したゲーテによる代表作『ファウスト』の研究を中心として文学と自然科学(自然哲学・自然科学)の関連を探っています。



アンドレ・ライヒャルト 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「言語学」「メディア学」
「ドイツ語教授法」
記号学を用いて日本のサブカルチャーの研究をしています。



スサナ・デル・カスティヨ 講師

専門分野
「ドイツ語学」
豊かなオノマトペ(擬声語・擬態語)を持っている日本語がドイツ語でどのように翻訳されているかを研究しています。



菅谷 優 講師

専門分野
「ドイツ文学・思想」
ユダヤ系ドイツ人であり晩年はパリで執筆をつづけた批評家ベンヤミンを出発点に、「ドイツ」なるものの固有性を「フランス」との比較において探究しております。



厚見 浩平 講師

専門分野
「ドイツ文学」
「ドイツ語教授法」
F・シラーの著作を中心に、18世紀ドイツ文学と医学・法学などの関係について調べています。より良いドイツ語学習法・教授法の研究にも関心を持っています。



中西 志門 講師

専門分野
「ゲルマン語学」
「歴史言語学」「文献学」
古ゲルマン語(古高ドイツ語、古英語など)における副詞の用法を研究しています。ヨーロッパの言語全般と中世の社会文化的側面にも関心があります。

課外活動



■ドイツ語クラブ「シュタムティッシュ」活動中!

多彩なイベント ドイツ語学科では、授業時間外のドイツ語学習やドイツ文化体験をサポートするドイツ語クラブ(大学公認愛好会)を主宰しています。ドイツ語映画鑑賞会、新歓コンパやピクニック、自作ソーセージやシュニッツェル(カツレツ)の料理会、合宿、仮装パーティー、ドイツの卓上ゲーム会、ドイツ留学相談会、七隈祭への出店、クリスマス会などのイベントを催しています。

■チャレンジ!

独検1級に合格! ドイツ語技能検定試験対策自主勉強会をしたり、通訳としてのインターンシップ(企業研修)にも挑戦したりしています。ドイツ語学科で学ぶと、卒業までに独検2級レベルの力がつくことが期待されます。中には3・4年次で準1級・1級に合格する人もいます。

詳しくはドイツ語クラブウェブサイトをご覧ください。



フランス語学科

Department of French



異なる文化の交差点で学ぶ「クロスカルチュラルコース」と フランス文化の深層で学ぶ「フランス語コミュニケーションコース」。 言葉を羅針盤に、自由に柔軟な、自分らしい生き方を見つける。

フランス語の習得を通して、その文化を理解し深く味わうとともに、異なる背景を持つ人々との対話を通して、自ら考え自ら行動する力を磨きます。

海外経験豊富なスタッフがみなさんの知的好奇心に応え、その学びを全力でサポートします。

4年間で培われる自立の精神と確かな外国語運用能力とが、国内外での社会貢献を支える礎となることでしょう。

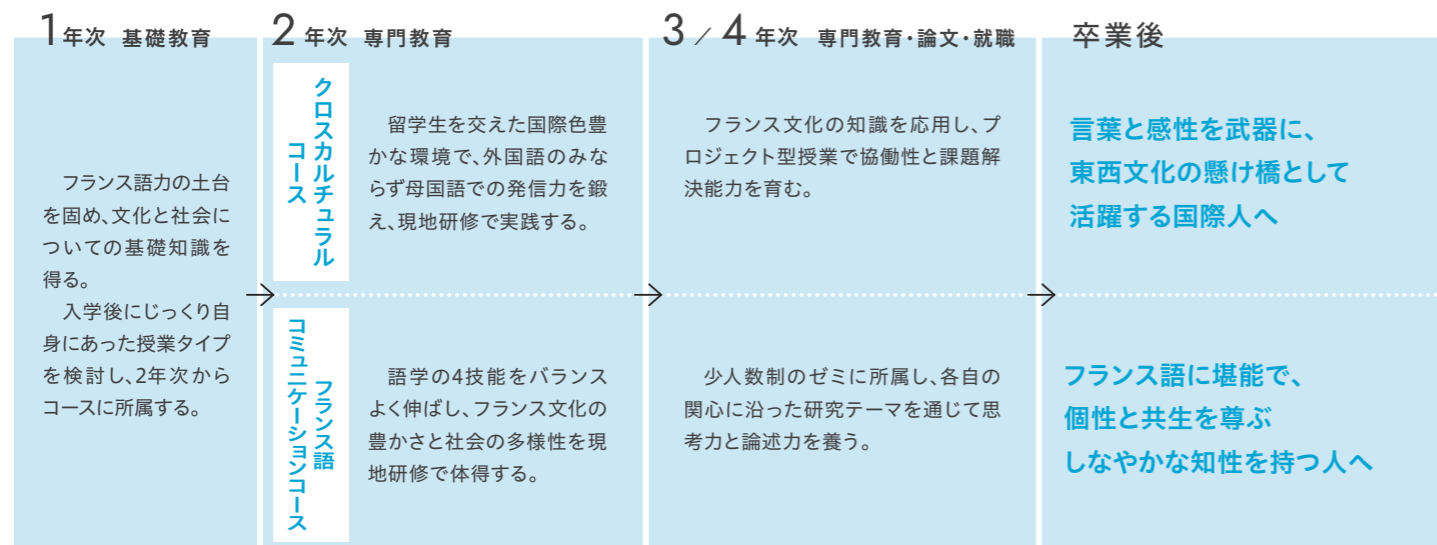
求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学習し、フランス語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** フランス文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



フランス語学科での4年間



※カリキュラム改正等により、変更の可能性があります。

専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許(フランス語)
- 日本語教員

在学生の声



3年次生 井上 葉月 さん
(福岡県 筑陽学園高校出身)

一人一人に寄り添う指導で積み上げる語学力。
現地研修で実践的な会話力が身に付いた。

Q1 この学科の魅力は？

少人数制の授業が多く、積極的に質問・発言できる環境です。先生が一人一人に寄り添い、分からないことや伝えたいことを一緒に考えてくださるので、発言への抵抗感が減り、言語習得に前向きになりました。また、留学制度を活用してアンジェの大学で学ぶ中で、フランスの文化や歴史への視野が広がるとともに、相互理解の大切さに気付かされました。

Q2 好きな授業は？

フランスでの語学研修に向けて会話力やリスニング力を伸ばす「フランス語圏現地研修」です。留学当初は聞き取るだけで精一杯でしたが、授業で学んだ表現や語彙を活用するうちに話せる内容が増え、現地の人と映画や食文化の話題で盛り上がりました。苦手だったコミュニケーションを楽しめるようになり、語彙力をさらに高めたいと感じました。

私の時間割(2年次後期)

	月	火	水	木	金
9:00	コンピュータ入門Ⅳ	中国語ⅡA			
10:40	フランス語圏文化基礎論B		フランス語ⅡA		フランス語ⅡB
13:00	東洋史B	フランス文学史B		フランス語基礎講読B	論理学B
14:40				フランス語圏現地研修	中国語ⅡB
16:20				芸術B	

卒業生の声

日常的にフランス語に触れて語学力が向上。
多様な人との交流経験が客室乗務員への夢を決定づけた。

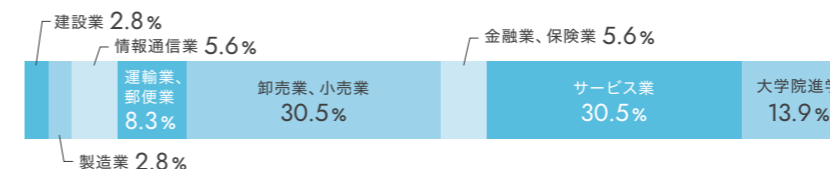
客室乗務員になるという夢を叶えるためには、語学力を身に付けることが重要と考え、本学科に進学しました。学科の学びは、ネイティブの先生との日常的な会話や、留学生を交えた発話練習など、生きたフランス語に触れる機会が豊富にあります。さらに、語学力だけでなくさまざまな国の歴史や文化を学ぶことで、異文化への理解も育まれました。学びの実践としては、パリやベルギーなどフランス語圏への現地研修・交換留学制度があります。実際に留学したことさまざまな国の人々と出会い、自分にはない視点を得るなど、新しい世界に触れた経験は、私に大きな影響を与え、夢を叶えたい想いが一層強くなりました。

実際に客室乗務員となった今も、異文化を理解する力や語学力は大きな強みとなっています。お客さまへスムーズで心の通ったおもてなしを提供したり、フランス人のクルーと意思疎通しながらチームワークを築いたりする上で、欠かせないスキルです。



太田 奈沙 さん(2024年卒業)
全日本空輸株式会社(客室乗務員)

主な就職・進路先(2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は [53ページ](#)

Pick Up 科目

コミュニケーション基礎



オーラルコミュニケーションに焦点を絞った教科書を使用し、生きたフランス語を学びます。歌やゲームなどを通じて楽しく学ぶことをモットーとし、フランスやベルギーの大学からの留学生も交えたグループの気楽な雰囲気での発話練習を積み重ねることで、まずは外国語学習につきものの「間違えたら恥ずかしい」を突破します。身近なテーマでのフランス語での発表を通じてプレゼン力も鍛えて、めざすはスピーチコンテスト優勝!

ソーシャルスタディーズ

「シーク」は「タクシー」、「グラサン」は「サングラス」など、芸能・マスコミ関係の業界用語でおなじみの逆読みコトバ(倒語)。こうした現象はフランスでも観察され、例えばfemme(ファム「女」)はmeuf(ムフ)、merci(メルシ「ありがとう」)はcimer(シメール)と言い、若者ことばとして独自の発展を見せているのが興味深いところ。フランスだけでなく、ドイツにも目配せしながら、世代、社会階層、ジェンダーなどと結びついたことばと人々のアイデンティティの面白い関係を深掘りします!



DIKAV
dikav(ディカーヴ)は放浪の民
ロマ民族のことばで「見て!」「注目!」の意。

ヨーロッパ文化概論

シェークスピア、モリエール、ボーマルシェ…喜劇は面白い! ドタバタが笑いを誘うから? 喜劇はそれ以上に偏見を排し世相に切り込み、時の権力を痛烈に皮肉ることで、よりよい社会を模索する芸術メディアです。イギリス、フランス、イタリアの古典演劇からオペラ・映画まで、現代に脈々と受け継がれるヨーロッパ喜劇の伝統に、その鋭い観察眼と批判精神を学び、いかにわれわれ日本社会に活路を見出せるか、考察を深めていきましょう。



クロスカルチュラルリテラシー

ドイツ・フランスなどヨーロッパのみならず韓国・中国などアジアからの留学生と、日本語・英語を中心に仏語・独語も交えて異文化理解に努めます。自然観・宗教観から教育・移民・環境問題までさまざまなテーマを各々のグループで自由に話し合い、地域ごとのローカルな多様性を知った上で、東西の違いを超えたグローバルな普遍的価値を探ります。留学生も日本の学生もお互い拙い外国語だから、間違えても平気、でも通じ合えたときの喜びは格別です。



ゼミ紹介

鈴木ゼミ



有江 菜花 さん [福岡女子高校卒]

フランスの哲学者の文献抜粋を原語で読み、先生がじっくり噛み砕いて説明して下さるので、身体論に関する難しい概念も理解できるようになります。舞踊論では実際に先生がタンゴを踊って下さるなど、セラピー的な面も含め自ら感じとるような授業を体験できます。また自分の好きなものや知りたいことを自由に研究テーマに選び、先生のきめ細やかな指導が受けられます。また発表の分かりづらい部分、足りない部分はないかゼミ生同士話し合い、自分の研究に磨きをかけることができます。

村石ゼミ



浜形 洋美 さん [福岡大学附属若葉高校卒]

名作『星の王子様』の作者サン＝テグジュペリのエッセー『人間の大地』の輪読に取り組みます。先生のサポートを受けつつ互いの考えを共有することで、多様な視点から作品読解が深められます。死と隣り合わせのパイロットが空から見晴らす世界は、私たちの日常感覚では得られないもので、人間の高貴な精神にふれた気がしました。また一見難しそうな卒業論文も先生が丁寧に個別指導して下さるので、興味関心に従い自分ならではのテーマを選び、安心して書き進められます。



本学科では、学生同士の交流を深めるために新入生歓迎会やクリスマス会などさまざまなイベントを開催しています!



クリスマス会の様子

現地研修・交換留学

短期語学研修

本学科では、フランス地方都市アンジェで約2週間、パリで約1週間、合わせて3週間の集中フランス語研修を「フランス語圏現地研修」としてカリキュラムに取り込み、単位を認定しています。

概要	
場所	アンジェおよびパリ 費用 約50万円(大学からの渡航費補助あり)
期間	2月中旬～3月初旬の3週間(春季休暇期間)
ロワール川流域の風光明媚な伝統的都市で2週間強のホームステイと語学学校での集中講座。週末には世界遺産モンサンミシェルとノルマンディー海浜への小旅行、地元の名物料理を楽しむ料理教室も。その後は1週間弱のパリ滞在で自由に旅をアレンジ。	

現地研修体験記 山田 凱楓 さん [柏陵高校卒]

初めはホストファミリーの会話の速さについていけませんでした。ゆっくり話しかけてくれて、簡単なフレーズで質問や会話を自分からすることで次第に意思疎通できるようになりました。滞在中、平日は学校に通い、放課後は友達と街へ出かけ、休日にはサッカー観戦に連れて行ってもらい、料理教室でマカロンを作ってみて食べ、海辺への小旅行もありました。街には歴史ある建物や教会、城があり、多国籍の人々が行き交い、日本とは異なる文化を体験できました。パリではテレビや教科書で見た風景を実際に目にし、幻想的な気分になりました。現地の人々が挨拶を大切にしていると感じ、自分から挨拶するよう心がけると自然に会話が生まれ、多くの交流ができ、充実した3週間を過ごせました。



フランス最古のタペストリーもある世界遺産アンジェ城にて



モン・サン＝ミシェルにて

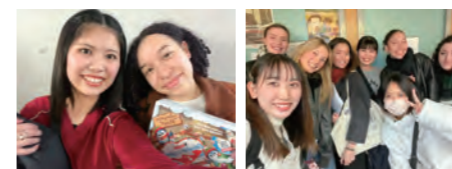
料理教室でマカロン作り

シャンゼリゼ通り、凱旋門前で

長期交換留学

短期ではもの足りない、もっと未知の世界を探索したいという人には、交換留学制度により、フランスまたはベルギーの協定大学で約1年間の長期留学が可能です。

概要	
協定校	①パリ・シテ大学(フランス) ④ルーヴァン・カトリック大学(ベルギー) ②セルジー・パリ大学(フランス) ⑤リエージュ大学(ベルギー) ③リヨン政治学院(フランス)
期間	9月から1年間
派遣定員	①④⑤2名 ②1名 ③6名
出願資格	成績等による制限あり
費用 約200万円程度、大学からの渡航費補助あり、フランスの自治体の奨学金申請も可	
[留学実績] 2022年度:4名(②4④2) 2023年度:1名(⑤1) 2024年度:4名(①1③2④1)	



クラスと寮の仲間との忘れえぬ時、忘れえぬ絆

交換留学体験記 小野 柚香 さん [大分舞鶴高校卒]

「留学に行ったら良かった」、この言葉に尽きます。留学に行かないと出会うことのできなかったフランス人の友達、日本人の留学仲間、見ることのできなかった景色、感じることのできなかった日本とフランスの違い、フランス人の「自分を一番大切に」性格等、今まで自分の中に無かったいろいろな新しいこと・人に出会うことができます。また、マイノリティとして生きることで、自分を見つめ直し自分と向き合う良い機会になったと思います。「留学に行けば必然的に語学力が上がる」というのは間違いです。どれだけ語学力が上がるか、どれだけ濃い留学生活になるかはその人の頑張り次第です。皆さんの挑戦を応援しています!

卒業論文・卒業研究

卒業論文 フランス文学の金字塔『レ・ミゼラブル』を極める

大場 麻由さん [筑前高校卒]

『レ・ミゼラブル』は、革命期のフランスを背景に、理不尽に投獄された男が司教との出会いをきっかけに正義に目覚め愛と信念を貫く物語です。ミュージカルや映画を通じてなじみはあったのですが、原作にはたったの二時間には収まりきれない深みがあり、作者ユゴーの社会政治思想が色濃く反映され、罪の意識や利他感情など人間精神の機微が掘り下げられていました。また文学に精通する先生の指導やゼミ仲間との意見交換を経て考察が深まり、より充実した論文が書けたと思います。



卒業研究 得意のイラストで絵本創作!

大久保 理世さん [香住丘高校卒]

学科学習の中で得た知識、三島やバタイユなど個人的な読書体験を通じて、また日々の生活の中で感じたことを4年間の集大成として、文章と絵の両方を用いて表現し、幅広く伝えられたらと思い、絵本を制作しました。自分の抱く「主体」と「客体」、それに伴う性のイメージ、社会道徳と審美性など、対立するものを自ら創造した各々のキャラクターやそれらが織り成すシチュエーションに宿らせて、一つの絵本に閉じ込めること、その方がテーマに従って自分の意見を述べる論文よりしっくり来ると感じたからです。快楽の蕩尽に身を委ねる夜の世界、善悪の彼岸にある耽美的な境地を自分なりに描き出せたと思います。



進路・就職

本学科ではフランス語、それに英語の教員免許が取得でき、それを生かして各種学校の教員となった卒業生も少なくありません。その他、出版、放送などのマスコミ、銀行、商社、旅行会社、金融関係など、幅広い分野からの求人があります。

主な進路・就職先

一般企業	マスコミ、旅行会社、商社、銀行 など	官公庁などの専門職	国家公務員(国税庁)、地方公務員(消防、警察) など
教育研究分野	教員、大学職員、日本語教員(フランス、タイ、韓国) など	大学院への進学	本学大学院人文科学研究科(仏語学仏文学専攻)、他大学の大学院

Graduate's Voice 卒業生の声



永野 天実さん
動画クリエイター
兼 起業家
[筑陽学園高校卒]

私にとってフランス語学科は、さまざまなことに挑戦できる環境が整っていました。在学中、スイーツ系SNSの発信を始め、YouTube銀の盾を獲得しました。また子どもの教育系会社も設立し、野菜栽培キットを好評発売しました。語学だけでなくフランスの豊かな文化や歴史を学んだことは発想力の源となり、今の活動に生きています。また今リスクのある仕事を選んだからこそ、日本語教員の資格を取得できたことも、大きな財産になりました。どの授業も楽しく、先生も悩みがあれば一緒に考えてくれる、とても充実した学生生活でした。



森近 雛音さん
スイスポートジャパン
株式会社
[福岡大学附属若葉高校卒]

語学力を生かし可能性を広げたいと考え、国際線のグランドスタッフとして勤務しています。今はリーダーも任せられ、担当するエアラインの数も増えました。英語やフランス語でお客さまと接するたび、学びの成果を実感しています。多くの学生がゼロから始めますが、質問しやすいアットホームな環境での丁寧な指導と少人数教育で、安心して学べます。語学強化や日本を多言語で発信する異文化理解の科目もあり、現地研修や留学生との交流など実践の機会が豊富なので、将来の選択肢を広げられる点が魅力です。



佐本 花菜さん
ルイ・ヴィトン株式会社
[筑前高校卒]

ルイ・ヴィトンで働くことは以前からの夢であり、大学2年次のフランス現地研修をきっかけに、その想いは確信へと変わりました。現在はClient Adviserとしてメゾンの精神を伝えながら、あらゆる場面でフランス語に触れ、世界中のお客様と信頼関係を築いています。学科ではフランス語習得にとどまらず、成り立ちやコミュニケーション力、現地研修を通じた実践まで学べる環境が整っています。恐れず挑戦する姿勢や、自分自身の可能性に向き合う力を育ててくれたと実感しています。



肖 宜桐さん
吉林外国語大学
フランス語講師
[長春外国語学校卒]

外国語全般に関心があり、日本で学ぶ言語としてフランス語を選びましたが、本当によかったと思っています。学科では授業はもちろん観劇・映画鑑賞などイベント参加を通じてフランスだけでなく、ベルギーやカナダなどフランス語圏の文化や文学にも触れ、留学や大学院進学を決意しました。交換留学でパリ郊外のセルジー大学に学び、多様な出会いを通して視野が広がりました。大学院では談話表現など口語フランス語を対象とする言語学研究に取り組み博士号を取得した後、現在は吉林外国語大学で教鞭を執っています。

教員・研究の紹介

フランス語学科に所属している教員をご紹介します。
※2026年4月1日現在



辻部 大介 教授
研究テーマ
フランス語文献学、
モンテスキューの宗教思想

真・善・美を追求し、正義と平和を実現することが、人間一人一人にとっての究極の課題である、という考えが、西洋文明の最良の部分形づくっています。この文明の一翼を千年以上にわたり担ってきたフランス語を深く学ぶ経験は、大学卒業後どのような道に進むのであれ、あなたの人生を照らす光となり続けることでしょう。



川島 浩一郎 教授
研究テーマ
フランス語の文法研究、
言語研究

日本人より日本語に詳しい外国の方って、カッコいいと思いませんか。受講者に「フランス語ネイティブよりもフランス語に詳しい日本人」を目指してほしい、そんな気持ちで文法の授業をしています。フランス語は、話されている国や地域が英語の次に多く、文法や単語が英語に似ていて勉強しやすい言語です。それでいてフランス語が得意な日本人は比較的少数なので、希少価値もあります。学ぶことにメリットの多い言語だと思います。



テクセラ・
ヴァンサン 教授
研究テーマ
詩、19・20・21世紀
ヨーロッパ文学と哲学、
映画、音楽

フランス語とフランス文化の知識は、世界の多様性を発見する手段でもあるのです。他者を見続けることもなく、速くにある他の場所を見ることもなく、星を愛で続けることもなしに、一体どうやって人間としての一生を過ごすことができるでしょう。作家ヴィクトル・ユゴーが書いているように、人間とは「星に恋するミミズ」なのです。



山本 大地 教授
研究テーマ
フランス語の語彙、
会話の研究

スピーチコンテストで輝く、留学先で外国人の友人を作る、語学研修でホームステイする、専門的な知識を身に着ける、高度な検定試験に合格する...これらすべてを実現できる道筋が、フランス語学科には用意されています。必要なのはあと一つ、皆さんのやる気だけです!やる気のある皆さんをお待ちしています。



鈴木 隆美 教授
研究テーマ
20世紀フランス文学・
思想、身体論

フランスには、洗練されたファッションや極上のスイーツは言わずもがな、頭のおかしい芸術家、思想家たちの突飛なクリエイションに満ち溢れています。ぜひとも、自由と愛に満ちたフランス的な生き方の「流儀」に触れてほしいと思います。そこには人生のヒントがごろごろと転がっているはずです。



アンティエ・
エマニュエル 教授
研究テーマ
言語文化教授法、
異文化コミュニケーション

フランス語と日本語はかけ離れた言語です。しかし、かけ離れているからこそ魅力的です。母語とは全く異なる言語の世界を知ること、自分の視野を広げることであり、自分自身を再発見することにもつながります。皆さんも、福大のフランス語学科のメンバーと一緒に、言語間の旅に出かけましょう。新しい自分に会えるはずです。



井関 麻帆 准教授
研究テーマ
18世紀啓蒙文学(ルソー)

外国語を学ぶことは「発見」の連続です。フランス語を学習するとさまざまな疑問が湧いてきますが、答えを探していく過程で新しい文化に出会うことができます。さらに視野を広げると、フランス語圏であっても国や地域によって違いがあることに気付きます。例えば、フランスの国境を超えてスイスやベルギーに行くと、フランス語特有の数の数え方にも変化が生じます。また、皆さんが日常的に使っている「カフェオレ」というフランス語も、地域によって表現が異なります。これらの差異の由来を探ると、各地の文化や歴史が深く関わっていることが分かります。フランス語の学習を通して、言葉に内包される文化的要素や歴史的背景を「発見」する喜びと面白さを知ってもらえたら嬉しいです。



小池 美穂 准教授
研究テーマ
フランス・ルネサンスの
思想・文学

あるフランスの詩人が「さまざまな料理の中で美味しいと思える料理があるならば、それはあなたが調理したものだろう」と言っています。この意味するところは、材料選び、レシピから旨味の出し方までその料理の極意を知っていれば、何も知らずに食べても美味しいものがさらに美味しく感じられるということです。フランス語学科はさまざまな「グルメ」を提供しますので、あなただけの「至極の一皿」、ぜひ見つけてください。Bon appétit!



村石 麻子 准教授
研究テーマ
現代フランス小説、
比較文学

フランスのノーベル文学賞作家アルベール・カミュは、「創造すること、それは己の運命を形作ることもある」と言っています。大学時代は、受け身でない自分自身の人生を切り拓くための準備期間です。学びも遊びも精いっぱい楽しむことで、自分を創る力を呼び覚まし、我々とともに自己研鑽を重ねていきましょう。



鈴木 美香 講師
研究テーマ
中南米やヨーロッパの
移民・難民、在日外国人

人生は縁の巡り合わせから出来ており、授業で学んだことや学校で出会った人々が日々の生活や将来自分が行う選択に与える影響は決して小さくありません。フランス語学科でのフランス語やヨーロッパの文化についての学び、同級生や先生達と過ごす時間は皆さんのかけがえのない人生の財産になるはずです。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



比内 晃介 講師
研究テーマ
フランスにおける
若者ことばの研究

大学での学びの醍醐味は、何といっても新しいことに果敢に挑戦すること、そして新しい自分を発見することだと思います。日本語や英語とは一味異なったフランス語という言語についての専門的な知識を学んだり、フランス語を通して外国の人々と交流したりすることで、これまで気づくことのなかった自分の隠れた興味や能力と一緒に発掘してみませんか。



中田 麻理 講師
研究テーマ
ジャン・ジュネ、
ジェンダー論

ジェンダー、LGBT、クィアという言葉が使われ始めるよりも前、人々は自分の感情やアイデンティティをどのような言葉で表していたのかといったようなことを、文学作品を通して考えています。授業ではできるだけみなさんに興味を持ってもらいやすい内容を心がけていますが、いわば同じラインで生産していますので、私の授業にはBL、GL的な内容が少し多いかもしれません。

東アジア地域言語学科

Department of East Asian Studies



中国・韓国を中心に東アジア地域をとらえた学び。 ボーダーレスに活躍できる人材を目指す。

中国や韓国をはじめアジアへの玄関口として発展を遂げた福岡。その福岡で、グローバルに活躍できるリーダーを育成することは本学の使命の一つであり、その一環として設置されたのが東アジア地域言語学科です。それぞれ中国や台湾と韓国・朝鮮を対象とした「中国コース」と「韓国コース」、いずれかに軸足を置きつつ、もう一方の科目も時間割の可能な範囲で自由に履修可能です。中国・韓国の言語や文化、地域事情を学ぶことで、東アジア地域で活躍できる人材を目指します。

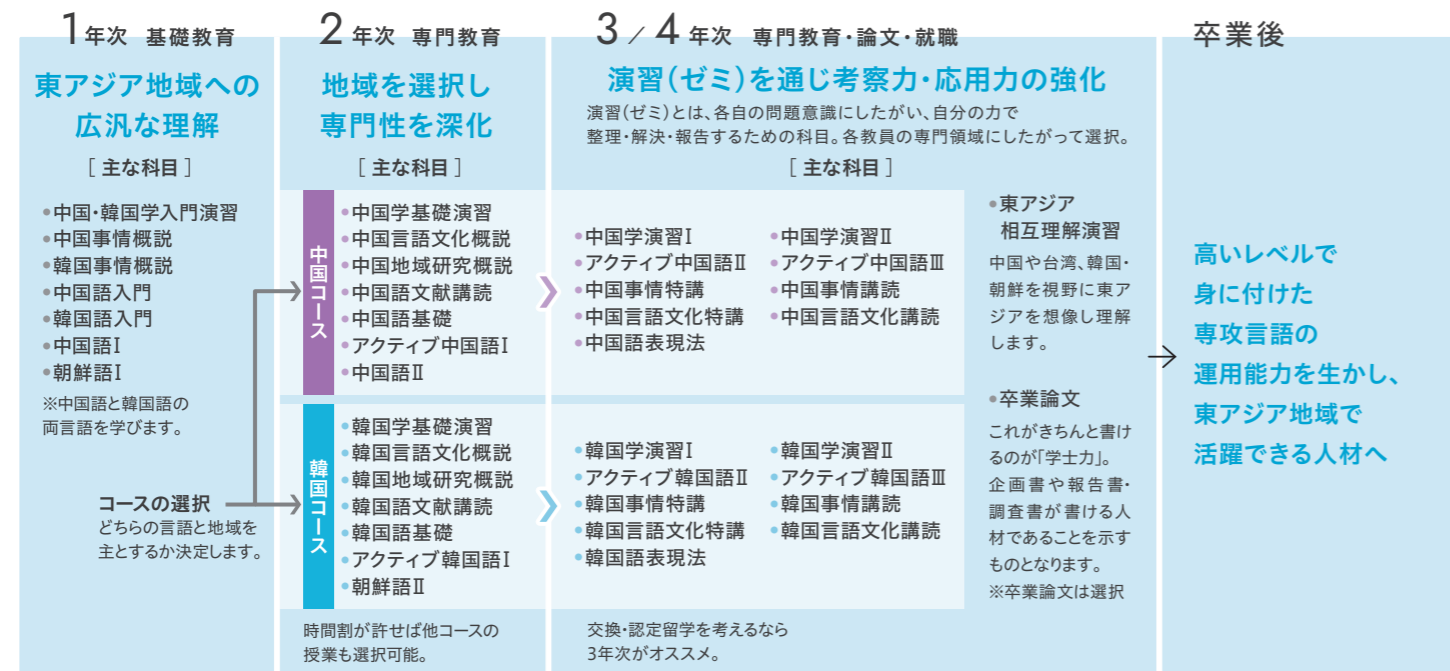
求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修しており、中国や韓国を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 自らの視点で物事を考え説明することができる人
- C 態度・志向性** 東アジア地域で活躍する国際市民になることをめざし、その力を地域社会のために積極的に活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 主体的な活動により、英語や中国語・朝鮮語等の検定に合格した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人、または国際交流に積極的に参加した人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



東アジア地域言語学科での4年間



専門教育科目
カリキュラム



学科
公式ウェブサイト



取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校 教諭一種免許(中国語・朝鮮語)
- ☑ 日本語教員

在学生の声

中国・韓国両方の語学と文化を学習。
エッセイの講読で日常会話力も向上した。



3年次生 下玉利 そらな さん
(福岡県 福岡大学附属若葉高校出身)

Q1 この学科の魅力は？

言語を通して東アジアの文化や社会、歴史を総合的に学べます。1年次は中国語と韓国語両方の基礎を固めます。2年次からは選択制で、私は「中国コース」に進みました。授業は少人数制で、ペアでの会話練習や個人発表などアウトプットの機会が多いことが特長です。発音や筆記、作文の添削など先生方の丁寧な指導のおかげで、確実に中国語力を伸ばせます。

Q2 好きな授業は？

「中国言語文化講読」です。中国人作家のエッセイを和訳する過程で中国の文化や慣習などを知り、日本との違いが分かって面白いと感じました。講読を積み重ねることで文法や四字熟語への理解が深まり、中国語の短編小説にも挑戦できる読解力が付きました。また、日常表現が多く使われるエッセイを読むことで、会話で使える自然な表現も身に付きました。

私の時間割(3年次前期)

月	火	水	木	金
9:00			英語読解 I A	中国学文献講読 II A
10:40	中国言語文化講読 A		観光・ビジネス英語	
13:00	中国学演習 I A	中国言語文化特講 A	コミュニケーション中国語 II A	
14:40				
16:20	アジアの文学 A	法学 A		

※「コミュニケーション中国語 II A」は後継の「アクティブ中国語 II A」が開講。

卒業生の声

語学・社会・文化に至る総合的な学びが
海外企業と仕事をする実践力になった。

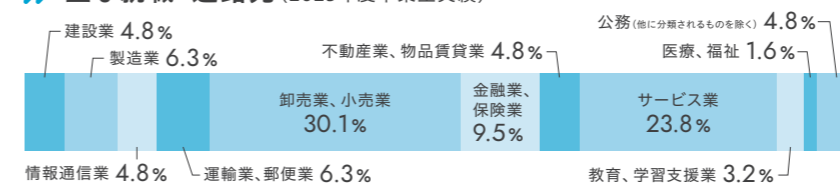
韓国語や韓国文化に興味のある私にとって、東アジア地域の語学・歴史・社会・文化を多面的に学べる本学科は大きな魅力でした。授業では、身近なモノを題材に社会・文化現象を考察するなど、東アジア地域への理解を深める内容が充実しており、韓国語と中国語の両方を学ぶこともできます。学びの中で、他言語を活用して人と人をつなげる仕事に携わりたいと考えるようになりました。単なる語学力だけでなく、背景にある文化や価値観を理解する重要性も改めて感じ、この理解は仕事にも大いに生きています。

現在は、免税店事業を展開する企業の韓国営業部に所属しています。韓国の取引先とのやりとりにおいて、ビジネスの場で通用する語学力が円滑なコミュニケーションの支えとなっています。また、ゼミでの調査・発表を通じて培った「情報を整理し、相手に分かりやすく伝える力」も、実務に欠かせないスキルとして役立っています。



富永 奈史 さん(2024年卒業)
株式会社JTC

主な就職・進路先(2025年度卒業生実績)



●人文学部の主な就職先は **53ページ**

学科行事年間スケジュール

※近年のスケジュールを踏まえて作成してあります。状況に応じて、追加・変更があります。

4月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対面式 ■ 科目登録／前期開始 ■ フレッシュアップセミナー(1年次生) 新生と教員・在学生が参加 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交換留学選考出願 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 韓国・高麗大学校との学生交流会 ■ 特待生表彰式／保護者懇談会 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前期終了／定期試験 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミ合宿 ■ オープンキャンパス 教員と在学生による高校生向け学科案内 ■ 韓国・蔚山大学校研修(定員あり) ■ 上海財経大学との交流会(オンライン) 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミ旅行 ■ 後期開始 ■ 中国・広州大学とのEタンドム学習参加者募集 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 韓国・檀国大学校との学生交流会 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ■ コース分け決定(1年次生) 2年次から中国コースに進むか、韓国コースに進むかを決めます。 ■ ゼミ分け決定(2年次生) 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアアップセミナー(4年次生の報告)・先輩と語る 3年次生向けの就職支援セミナー。就活に向けて社会人や4年次生内定者からのアドバイスを聞きます。 ■ 卒業論文提出(4年次生) 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 後期終了／定期試験 ■ 卒論口頭発表会・口頭試問(卒論提出者4年次生) 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国・揚州大学研修(定員あり) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業式 ■ 祝賀会 ■ 科目履修説明会(2年次生) ■ 合同ゼミ研修(2年次・3年次生) 	

恵まれた留学・研修プログラム

●本学に授業料を納めた上で「交換留学」「認定留学」の制度を利用した場合、留学先で履修した科目は、一定の条件を満たすことで単位認定されます。そのため、半年または1年間の留学期間を含め、4年間で卒業することが可能です。

交換留学制度	[本学と交換留学制度のある協定大学(2026年時点)]
	<ul style="list-style-type: none"> 中国・台湾 上海財経大学／華東師範大学(上海)／揚州大学／広州大学／烟台大学／中央財経大学(北京)／黒龍江大学 輔仁大学(台北)／高雄大学／静宜大学(台中) など 韓国 成均館大学校(ソウル)／国民大学校(ソウル)／慶熙大学校(ソウル)／仁川大学校／釜山大学校／釜山外国語大学校／東義大学校(釜山)／慶南大学校(昌原)／蔚山大学校／慶北大学校(大邱)／啓明大学校(大邱) など
認定留学制度	交換留学制度のような留学援助金の支給はなく、留学先の授業料も自己負担となりますが、半年または1年間の留学期間に取得した単位を本学の単位に認定する制度です。
短期研修	韓国・蔚山大学校 夏期研修 / 中国・揚州大学 春期研修

留学体験記

本学科で学んだ中国語と韓国語を生かして、あるいは言語力のさらなる向上を目指して、多くの学生が中国・台湾・韓国への留学に挑戦しています。

中国・台湾

長岡 葉那 さん (中国・中央財経大学)

留学してよかったことは、中国のことがもっと好きになったことです。私の中国語はまだ十分とは言えず、現地の方とコミュニケーションを取る中で、言葉に詰まってしまうこともあります。しかし、1年間の留学を通して中国の文化や人々がより好きになり、日本に帰ってからも中国語を頑張って勉強し続け、さらに自分の中国語のレベルを高めていかなければならないと思う



ようになりました。それが自分の人生の中で一つの目標となった今、中国語は私の生活に彩りを与えてくれる存在になっています。

古米 麻鈴 さん (台湾・輔仁大学)

留学を経験し、知り合いが一人もいない場所で生活をしたことで、私は精神的に強くなれました。私はもともと心配事が多く、小さな失敗をズルズルと引きずってしまう性格でしたが、小さいことは気にせず素直で正直な台湾の人たちに囲まれたおかげで、私のネガティブな性格も改善されたような気がします。もし、留学に行くことを迷っている人がいたら、ぜひ行って欲しいと思います。留学はきっと、素敵な経験になると思います。



韓国

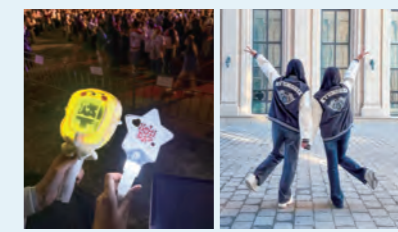
平出 秋 さん (韓国・国民大学)



私は、留学を通じて、最後までやり抜く力を学ぶことができました。困ったことがあったときに、頼れる人がいるということは良いことであり、人に頼るといことが悪いことではありませんが、留学中はまず自分でどうにかしてみようと、問題に向き合う時間を大切に、すぐに投げ出さないと決めていました。10カ月の留学期間の中で本当にたくさん問題、悩みを直面しましたが、そんな中でも良い成績を収め、幸せな思い出、豊富な経験をして無事に帰国したということは、留学前の自分よりも成長できたということだと思っています。

川副 明莉 さん (韓国・慶熙大学)

留学を通じて学ぶことができたと思うのは、勉強に対する姿勢です。留学前は受け身の姿勢で勉強することが多かったのですが、留学先で韓国人学生の熱心さを見て学び、意欲を持って勉強に取り組む姿勢ができました。語学面でも、私は韓国語での会話に苦手意識があったため、一度頭の中で翻訳してから



話すことが多かったのですが、時間が経つにつれ、少しずつ自然と韓国語が出てくるようになったと感じることができました。

長田 充生 さん (韓国・仁川大学)

仁川大学には日本地域文化学科という学科があり、日本人と関わりを持ちたい学生たちもたくさんいるので、多くの友人ができました。おかげで毎日楽しい日々を送ることができました



が、特に学園祭やMT(交流のための小旅行)などのイベントが一番の思い出です。私は、他の留学生よりも言語能力が不足していたため、とにかく自分から動くことを意識しました。たくさん挑戦した分、失敗も多かったです。おかげで、言語能力も上がりましたが、行動力やメンタルといった部分が一番成長したなと考えています。

吉田 葵子 さん (韓国・啓明大学)

私は、就職活動と重なる4年次生の時期に留学をしました。留学生活を通して、語学力が身に付いただけでなく、韓国の文化や価値観を深く知ることができ、これから何らかの形でこの国に関わり続けたいという思いが強くなりました。その結果、韓国と取引のある企業に内定を頂くことができました。留学を通して、自分の興味や将来について改めて考えることができ、今後の人生においてもかけがえのない経験になったと感じています。



教員・研究の紹介

東アジア地域言語学科に所属している教員をご紹介します。 ※2026年4月1日現在



あんどう じゆんこ
安藤 純子 教授

専門分野
「日韓・日朝関係」

『木を見て森を見ず』とはならないように——私が学生時代、日韓・日朝関係を学ぶ際に指導教員から言われたことです。日韓・日朝間の問題に対しては、つい感情的になったり、問題の歴史や背景を見ずに考えてしまいがちです。それでは問題の本質は見えません。日韓・日朝間の問題に限らず、何事においても「森」全体を見ることを心がけてみてください。それから、どんな事でもいいので大学在学中に打ち込めることを見つけてください。それはきっと大学卒業後も大きな心の支えとなるはずです。



いぶし けいこ
伊伏 啓子 准教授

専門分野
「中国語学」「東西言語文化交流」

私の専門は中国語学です。特に、近代の中国語の語彙や語法の変化について、当時中国にやってきたキリスト教の宣教師や西洋で中国研究を行っていた中国学者の資料を用いて研究しています。大学時代に中国語と出会い、中国や台湾の留学生と友情を深めながら、楽しく学んできました。その後、思いがけず中国語を通して欧米にも広く繋がりを持つようになり、現在に至っております。失敗を重ねながら、中国語でコミュニケーションを取る楽しさをぜひ皆さん一緒に味わいましょう。



おおさわ たけし
大澤 武司 教授

専門分野
「中国近現代史」「日中関係」

私は中国近現代史、中でも戦後日中関係を専門としています。中国が「大國化」する中、日本は中国と政治・経済・文化・安全保障など、さまざまな領域において「双贏」(ウィン・ウィン)の関係を築いていかなければなりません。そのためには相手と自分たちの間のこれまでの関係(歴史)を知ることが大前提となります。現在と将来の日中関係を客観的に分析する力をつけるため、歴史という視点から中国を学び、一緒に中国理解を深めていきましょう。



おがた よしひろ
緒方 義広 准教授

専門分野
「日韓関係」「現代韓国社会」

現地に長く住み、韓国社会や日韓関係について身をもって学び、考えてきました。専攻は政治学ですが、韓国社会や日韓関係を考えるのにその歴史的・文化的背景を理解することの重要性を感じています。私にとって、大学時代の韓国留学は人生のターニングポイントになりました。日韓をめぐるさまざまな話題、問題について、皆さんと一緒に考え学び、大学での時間が、皆さんのこれからの重要な意味をなすよう応援していきます。



か おくこう
何 憶鶴 講師

専門分野
「中国近現代文学」

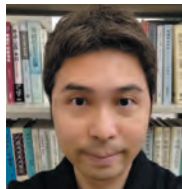
専門は中国近現代文学です。近年はジェンダーの視点から1980年代、1990年代の文学を研究しています。特に興味を持っているのは1990年代末に一大ブームを巻き起こした「小資(プチブル)文学」と呼ばれる作品群とそれをめぐる一連の文化現象です。中国近現代文学は読みにくそう、身近ではないと思っている人が多いかもしれませんが、現代都会を舞台とする「小資文学」においては、現代に生きる我々が共通して抱えている葛藤が描き出されていると思います。中国現代文学・文化研究の入り口として、「小資文学」に触れてみてはいかがでしょうか。



しゃ へい
謝 平 教授

専門分野
「中国語学」「中国語教育学」
「日中対照言語学」

大学時代は文学が大好きでしたが、日本語を勉強し始めてから母語である中国語の特徴や仕組みについて深く研究しようと思うようになりました。今は現代中国語の語順について調べております。世界人口の5分の1もの人々が中国語を使っています。多くの方とコミュニケーションをとれるように、是非中国語を楽しみながら勉強しましょう。



しんざと よしのぶ
新里 喜宣 准教授

専門分野
「韓国宗教文化」「宗教学」

私が韓国語に関心を持ったのは日韓ワールドカップ(2002年)からであり、現在の専門である韓国の宗教文化への関心は、大学でのゼミが大きな契機となりました。ある意味ではいろいろな偶然が重なっていまの私がありますが、それらは私にとって、とても貴重な「偶然」でした。皆さんも大学生活で色々なことを経験し、その中で人生の宝物となる「偶然」に遭遇してもらいたいです。



まつば じゆん
松葉 隼 講師

専門分野
「台湾近現代史」「日台交流史」

私の専門は、日本統治時代を中心とする台湾の近現代史です。特に、鉄道や海運などの交通を切り口とし、日本と台湾の関係性の生成と変化を研究してきました。現在では、人の移動や交流についても研究を行っています。私は大学院在学中に台湾へ留学し、現地で史料と向き合い、台湾の皆さんとの交流を通じて、人々の営みや生活、時間と空間を超えた交流の豊かさや深さを目の当たりにしました。台湾は、さまざまな国や社会の影響を受け、成り立っています。その豊かさや複雑さを少しずつ紐解き、一緒に考えていきましょう。



ゆん すみ
尹 秀美 准教授

専門分野
「社会言語学」「日韓対照言語学」

大学で初めて日本語を学び、私が一番好きになった言葉は「どうぞ」です。依頼、祈願や承諾などいろいろな場面で使われますが、私は相手に何かを勧めたり、頼みごとを承諾したりする時の「どうぞ」が好きです。この「どうぞ」には、短い言葉で人を思いやる日本人の心が象徴的に表れているように見えます。大学の4年間、韓国や中国の好きな言葉と、その言葉に隠れているものをたくさん見つけてください。



りゅう ちゅんひ
柳 忠熙 教授

専門分野
「韓国・朝鮮文学・思想」

私の専門は韓国・朝鮮の文学と思想です。特に、近代東アジアにおける知識人と社会の変化を考えながら、韓国・朝鮮の知識人の思想と文化について研究しています。皆さんは大学で何を学びたいのでしょうか。皆さんの多くは、大学での生活を、就職など、将来を準備することとして想像しているかもしれませんが、大学は、皆さんの将来の準備をするところであると同時に、皆さんが人々と共に生きていく教養を学び、社会を見る自分なりの観点を育てるところでもあります。この文章を読んでいるあなた、東アジアの文化・歴史・言語という視点から世界を考える教養と観点を、一緒に学んで育ててみませんか。



多彩な学習 — これまでの実績

中国コースの実績

■ 台湾研修旅行(台中科技大学と交流)

2025年の夏、3泊4日の日程で2~4年次生23名と教員4名が参加し、台湾現地研修を実施しました。初めの2日間は台中に滞在し、台中科技大学中文系および日文系の学生と交流を行い、学外活動として夜市の散策も体験しました。台湾最大の湖である日月潭も訪れました。3日目は、バスで台北に移動しながら中正紀念堂、故宮博物院、九份を訪れ、台湾の歴史や文化への理解を深めました。

今回の研修では、台中科技大学の皆さんから温かい歓迎を受け、多くの学びを得ることができました。学生にとっても教員にとっても大変有意義な現地研修となりました。



■ インターネットを利用したタンデム学習

2019年度から広州大学外国語学院の協力をいただき、オンライン経由のタンデム学習プロジェクトを実施しています。タンデム学習とは、母語の異なる2人がペアになり、それぞれの言語や文化を互いに学び合う学習形態です。学生の中国語レベルに応じてコーディネーターがペアリングを行い、学生自身が学習計画(日程・内容・方法など)を相談しながら決めることで無理なく学習を進められます。コロナ禍以降、海外渡航をせずとも有効な中国語能力向上の機会となっています。

(例)

日本語話者と中国語話者のタンデム学習(1時間半の場合)

5-10分...	振り返り	
35分...	それぞれの学習活動	中国語学習
35分...		日本語学習
5-10分...	次の計画	

韓国コースの実績

■ 高麗大/檀国大/東国大との交流会

2023年6月には高麗大が、11月には檀国大が、また2025、2026年には東国大が福岡を訪問しました。高麗大の先生から韓国文学に関する講義を聞き、日韓の学生と一緒に感想を述べ合ったり、檀国大の学生たちとは韓国社会や日韓関係について、それぞれの立場から議論を行うなどしました。行事終了後にはキャンパスを案内し食事も行いましたが、日頃から学んできた語学力を生かし大いに盛り上がりしました。



■ 韓国研修旅行(韓国の宗教文化を体験)

2026年春に実施した2年次生対象の研修は、韓国社会と宗教文化への理解をテーマに、韓国を訪問しました。韓国学中央研究院を訪問し、宗教文化に関するセミナーおよび現地の大学院生との意見交換を行い、テンプルステイ体験などを通じて、難解に思われがちな宗教文化や信仰思想に直接的・間接的に触れる機会も持ちました。

今後の韓国語学習のみならず、韓国社会・文化理解の深化につながる大変有意義な研修旅行となりました。



※東アジア地域言語学科について、詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。



各種課程教育情報

博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員、教職の4課程を開設。
将来の可能性を大きく広げる資格・免許の取得と同時に、
それぞれの実践のスキルを身に付けていきます。

人文学部では博物館学芸員課程、社会教育主事課程、日本語教員課程、教職課程の4課程を開設し、学生の資格・免許の取得を積極的に支援しています。これらの資格・免許は実務に直結しており、各職に就くことを目指す学生が毎年、数多く履修します。
また、これらの資格・免許の取得に必要な単位は、基本的に各学科の卒業要件単位とは別に修得するため、履修する学生たちには高い意欲が求められ、その切磋琢磨も有意義といえるでしょう。

博物館学芸員課程

人文学部 文化学科および歴史学科

学芸員は、博物館(美術館・歴史資料館など)において、資料の収集や保管、調査研究、展示などを専門に行います。人文学部では、文化学科と歴史学科に学芸員を養成する課程を設けています。学芸員の資格を取得するためには各学科の卒業に要する単位他に、博物館に関する科目の規定単位を修得する必要があります。

■ 博物館に関する科目 ※2026年度入学生適用

必修科目	選択科目	備考
● 博物館概論	● 歴史学資料論A・B	● 考古学概説A・B
● 博物館経営論	● 日本の文化と歴史A・B・C・D	● 考古学方法論A・B (含、実習)
● 博物館資料論	● 西洋の文化と歴史a・b	● 考古学特講A・B・C・D
● 博物館資料保存論	● 東洋の文化と歴史a・b	● 文化財学概論A・B
● 博物館展示論	● ユーラシア史	● 文化人類学特講
● 博物館情報・メディア論	● 日本美術史	● 社会人類学
● 博物館教育論	● 日本美術論	● 文化地理学
● 生涯学習概論A	● 西洋美術史	● 社会地理学
● 博物館実習I・II	● 西洋美術論	● 民俗文化論

社会教育主事課程

人文学部 文化学科および教育・臨床心理学

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会に置かれる社会教育の専門的教育職員です。この社会教育主事課程では、学校教育以外で行われる青少年教育、成人教育、高齢者教育などの社会教育を行う人たちへ、専門的かつ技術的な助言と指導を与える専門職員の育成を目的としています。人文学部では、文化学科と教育・臨床心理学にこの課程を設けています。本課程の修了者は「社会教育士(養成課程)」と称することができます。なお、社会教育主事の資格を取得するには、社会教育に関する科目の規定単位を修得した後、さらに1年以上の社会教育主事補の業務経験が必要です。

■ 社会教育に関する科目 ※2026年度入学生適用

必修科目	選択科目	備考
● 生涯学習概論A・B	● 博物館概論	● 西洋美術史
● 生涯学習支援論A・B	● 博物館資料論	● 西洋美術論
● 社会教育経営論A・B	● 博物館教育論	● 社会福祉論
● 社会教育演習A・B	● 健康スポーツ総論 I	● 労働と法制度
● 社会教育実習	● 健康キャリアデザイン実習 I	● 地域教育デザイン演習
	● 博物館情報・メディア論	● 教育学概論 I・II
	● スポーツリサーチ実習	● 教育人間学
	● マス・コミュニケーション論	● 人間形成論
	● 教育の原理・課程論	● キャリア教育論
	● 教育心理学	● 発達心理学
	● 道徳教育論	● 福祉心理学
	● 日本美術史	● 教育思想論
	● 日本美術論	● 教育社会学
	● 日本美術論	

日本語教員課程

人文学部

国際化が進展し世界各国の日本への関心が高まる中、わが国では日本の伝統的文化と日本語の本質・特色を理解した上で、外国人に日本語を教育する人材がますます求められるようになってきました。この社会的要請に応えるため、本学では、人文学部に日本語教員として適格な人材を養成する日本語教員課程を設けています。この課程を履修し、必要な単位を修得した者には、本学所定の修了証が授与されます。
なお、国家資格である登録日本語教員になるには、日本語教員試験の基礎試験および応用試験に合格し、登録実践研修機関での実践研修を修了する必要があります。

■ 日本語教員に関する科目 ※2026年度入学生適用

必修科目	選択科目	備考
● 日本語学概論 I・II	● 日本語学特講 Ia・Ib・IIa・IIb・IIIa・IIIb・IVa・IVb・Va・Vb・VIa・VIb	● 英語学入門
● 日本語の歴史と方言 I・II	● 日本文学概論 I・II	● ドイツ語学概論A・B
● 日本語教育法 I・II・III・IV	● 日本文学史 I・II	● フランス語学概論A・B
● 日本語教授法演習 I・II	● 日本の文化と歴史A・B・C・D	● 中国言語文化概説B(言語)
● 社会言語学特講	● 言語学概論A・B	● 韓国言語文化概説B(言語)
● 心理言語学特講		

教職課程

中学・高等学校の教員を志望する学生のために、本学では教職課程を設けています。各学科の卒業に要する単位他に、教員免許状の取得に必要な教職課程科目の単位を修得することが必要です。
人文学部および大学院研究科で取得できる教員免許状は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語の外国語の他、社会・地理歴史・公民・国語があります。また、小学校教諭免許状取得プログラム(※)に参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位を在学中に修得することも可能です。

※教職課程受講料以外に費用が別途必要。

■ 教職課程開講科目 ※2026年度入学生適用

● 教職概論	● 教育実習事前・事後指導
● 教育制度論	● 教育実習 I
● 教育行政学	● 教育実習 II
● 教育法規	● 養護実習事前・事後指導
● 教育心理学	● 養護実習
● 特別支援教育論	● 教職実践演習
● 道徳教育論	● 生涯学習概論A
● 総合的な学習の時間と特別活動の指導法	● 生涯学習概論B
● 教育方法とICTの活用	● 人権教育
● 生徒指導論(進路指導を含む。)	● 教育福祉論
● 教育相談	● 教科教育法 他

■ 取得できる教員免許状の種類と教科

学部	2026年度入学生適用		
	免許状の種類および教科		
学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の免許状
文化学科	社会	地理歴史・公民	-
歴史学科			
日本語日本文学科	国語	国語	
教育・臨床心理学科	社会	公民	
英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)	
ドイツ語学科	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
フランス語学科	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
東アジア地域言語学科	中国コース 韓国コース	外国語(中国語) 外国語(朝鮮語)	

■ 大学院

2026年度入学生適用

専 攻	免許状の種類および教科		
	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	その他の免許状
史学	社会	地理歴史	-
日本語日本文学	国語	国語	
英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)	
独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
社会・文化論	社会	公民	
教育・臨床心理			

人文学部の 主な就職先 (2023年度～2025年度)

建設業 ● 積水ハウス(株)	卸売業、小売業 ● (株)PALTAC ● パナソニックマーケティングジャパン(株) ● リコージャパン(株) ● 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) ● 西部ガスエネルギー(株) ● 伊藤忠食品(株) ● (株)日本アクセス ● 丸紅シーフーズ(株) ● 新日本製薬(株)	不動産業、物品賃貸業 ● 三井不動産リアルティ九州(株) ● (株)JALスカイ ● 九州旅客鉄道(株)(JR九州) ● 西日本鉄道(株)	複合サービス事業 ● 日本郵便(株)
製造業 ● SMC(株) ● コカ・コーラボトラーズジャパン(株) ● YKK AP(株) ● TOTO(株)	電気・ガス・熱供給・水道業 ● 九州電力(株)	学術研究、専門・技術サービス業 ● (株)西鉄エージェンシー ● アクセンチュア(株) ● サントリーホールディングス(株)	公務(他に分類されるものを除く) ● 裁判所事務官総合職 ● 国家公務員一般職 ● 国税専門官 ● 法務省専門職員(人間科学) ● 福岡県庁 ● 福岡市役所 など
情報通信業 ● JR九州システムソリューションズ(株) ● 富士ソフト(株)	情報通信業 ● 九州電力(株)	宿泊業、飲食サービス業 ● (株)星野リゾート	生活関連サービス業、娯楽業 ● (株)Plan・Do・See ● (株)JT B ● (株)エイチ・アイ・エス
運輸業、郵便業 ● ANAウイングス(株) ● スカイマーク(株) ● 全日本空輸(株)(ANA) ● 日本航空(株)(JAL)	金融業、保険業 ● (株)福岡銀行 ● (株)西日本シティ銀行 ● ステート・ストリート信託銀行(株) ● 日本生命保険(相)	教育、学習支援業 ● 福岡県教員(小学校) ● 佐賀県教員(中学校)	